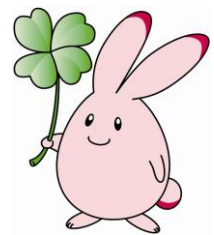


令和 7 年度

上田市社会福祉協議会事業報告書

(自) 令和 7 年 4 月 1 日 (至) 令和 8 年 3 月 31 日

社会福祉法人 上田市社会福祉協議会



- 目次 -

上田市社会福祉協議会の概況・・・・・・・・・・・・・・・・	1～2
令和7年度 総括・・・・・・・・・・・・・・・・	3～4

No.	事業名	ページ
1	組織図	5
2	職員構成	6
3	法人運営	7～13
4	善意銀行	13～15
5	企画・広報	15～16
6	希望の旅事業	16
7	上田市ファミリー・サポート・センター事業	17
8	福祉推進事業	17～20
9	点字・声の広報発行事業	20～21
10	日常生活自立支援事業	21
11	地域ふれあい事業	22
12	上小圏域成年後見支援センター事業	22～24
13	上田市生活就労支援センター“まいさぼ上田”事業	24～25
14	重層的支援体制整備事業	25～26
15	有償在宅福祉サービス事業	26～27
16	心配ごと相談事業	27～28
17	結婚相談事業	28
18	たすけあい資金貸付事業	29～30
19	特例貸付フォローアップ・相談支援体制強化事業	30
20	ボランティア地域活動センター事業	30～32
21	地域子育て支援拠点事業	32
22	上田市高齢者福祉センター管理事業	33～34
23	上田市丸子老人福祉センター設置管理事業	34
24	上田市真田老人福祉センター管理事業	34～35
25	真田ふれあいバス運行事業	35
26	上田市ふれあい福祉センター管理事業	35
27	上田市真田総合福祉センター管理事業	36
28	上市長瀬市民センター管理事業	36
29	共同募金配分金事業	37～41
30	地域包括支援センター事業	41～44
31	通所介護事業	45～46
32	居宅介護支援事業	46～47
33	児童館・児童センター事業	47～48
34	その他の事業	49～52

上田市社会福祉協議会の概況

1 名 称 社会福祉法人 上田市社会福祉協議会

2 事務所の所在地 上田市中央三丁目5番1号（上田市ふれあい福祉センター内）

3 設立年月日 平成18年10月1日

4 目 的

上田市における社会福祉事業その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の推進を図ることを目的とする。

5 組織・運営

全市民を世帯単位に会員として16地区241支部社協を構成し、自治会長・民生委員・児童委員・福祉推進委員・社会福祉事業関係者・行政機関などを構成メンバーとし、組織されている。会員制により地域の住民、自治会、社会福祉関係者などの参加・協力を得て活動している。

6 所轄官庁 厚生労働省

7 役員

(1) 理事・監事・顧問

役職名	氏 名	選 出 区 分	備 考	
会 長	宮之上 孝司	学識経験を有する者	～令和7年6月18日	
	萱津 公子		令和7年6月18日～	
副会長	中村 彰	地域の代表者	上田市自治会連合会	
副会長	古川 友枝	地域の福祉関係者	上田市民生委員・児童委員協議会	
副会長	母袋 元	地域の福祉関係者	上田市民生委員・児童委員協議会	
常務理事	中村 栄孝	学識経験を有する者		
理 事	岡村 一成	地域の代表者	上田市自治会連合会	～令和7年6月18日
	西嶋 治男			令和7年6月18日～
理 事	西牧 真吾	地域の代表者	上田市自治会連合会	～令和7年6月18日
	半田 廣雄			令和7年6月18日～
理 事	鈴木 三千夫	地域の代表者	上田市自治会連合会	～令和7年6月18日
	永井 泰山			令和7年6月18日～
理 事	小市 正輝	地域の福祉関係者	上田市民生委員・児童委員協議会	～令和8年2月9日
	青木 辰夫			令和8年2月9日～
理 事	聲山 孝道	地域の福祉関係者	上田市民生委員・児童委員協議会	～令和8年2月9日
	瀬切 信幸			令和8年2月9日～
理 事	佐藤 永寿子	社会福祉事業を経営する団体の職員	上小圏域障害者自立支援協議会	
理 事	上原 より子	ボランティア活動を行う団体の代表者	上田ボランティア連絡協議会	～令和7年6月18日
	宮沢 賢		丸子ボランティア連絡協議会	令和7年6月18日～
理 事	北島 大志	関係行政機関の職員	上田市福祉部	～令和7年5月13日
	長田 泰幸			令和7年5月13日～

理 事	成 沢 功	社会福祉事業に熱意と理解を有する者	上田市社会福祉協議会 福祉推進委員連絡協議会	～令和 7 年 6 月 18 日
理 事	原 幸子	社会福祉事業に熱意と理解を有する者	上田市赤十字奉仕団	
監 事	小池 晃雄	財務諸表等を監査し得る者		
監 事	中澤 照夫	社会福祉事業について学識を有する者		
顧 問	宮之上 孝司	前上田市社会福祉協議会会長	令和 7 年 6 月 18 日～	

(2) 評議員

氏 名	選 出 区 分	備 考	
橋本 至永	学識経験を有する者	上田市医師会	
矢ヶ崎 雅哉	学識経験を有する者	上田商工会議所	
鈴木 忠義	学識経験を有する者	長野大学	
竹内 仁一	学識経験を有する者	上田市校長会	
岩下 佑也	学識経験を有する者	上田青年会議所	～令和 7 年 6 月 18 日
井古田 圭			令和 7 年 6 月 18 日～
坂口 純一	学識経験を有する者	上田市子ども会育成連絡協議会	
柴田 隆一	学識経験を有する者	上田市多文化共生推進協会	
坂田 和善	地域の代表者	上田市自治会連合会	～令和 7 年 6 月 18 日
関 雅 裕			令和 7 年 6 月 18 日～
井出 守雄	地域の代表者	上田市自治会連合会	～令和 7 年 6 月 18 日
滝沢 研一			令和 7 年 6 月 18 日～
荒川 光広	地域の代表者	長野県弁護士会 上田在住会	～令和 7 年 6 月 18 日
清水 智弥			令和 7 年 6 月 18 日～
沖島 則子	地域の代表者	上小東御地域女性 団体連絡協議会	～令和 7 年 6 月 18 日
木村 見江			令和 7 年 6 月 18 日～
永井 静江	地域の代表者		～令和 7 年 6 月 18 日
山田 恵美子			令和 7 年 6 月 18 日～
山邊 幸男	地域の福祉関係者	上田市民生委員・ 児童委員協議会	～令和 8 年 2 月 17 日
小市 正輝			令和 8 年 2 月 17 日～
池田 弘子	地域の福祉関係者		～令和 8 年 2 月 17 日
小林 慎一			令和 8 年 2 月 17 日～
三井 千愛	社会福祉事業を経営する団体の職員	上小地区障がい児者 施設連絡協議会	～令和 7 年 6 月 18 日
滝澤 聖仁			令和 7 年 6 月 18 日～
山本 伊久子	社会福祉事業を経営する団体の職員	介護保険指定居宅介護支援事業者連絡協議会	
宮下 辰男	ボランティア活動を行う団体の代表者	武石ボランティア 連絡協議会	～令和 7 年 6 月 18 日
青木 千浪		真田ボランティア 連絡協議会	令和 7 年 6 月 18 日～
小平 八重子	社会福祉事業に熱意と理解を有する者	上田市社会福祉協議会 福祉推進委員連絡協議会	～令和 7 年 6 月 18 日
柳沢 泉	社会福祉事業に熱意と理解を有する者	上田市高齢者 クラブ連合会	～令和 7 年 6 月 18 日
清住 章雄			令和 7 年 6 月 18 日～
吾妻 博夫	社会福祉事業に熱意と理解を有する者	NPO 法人上田市身体障害者福祉協会	
中山 光次	社会福祉事業に熱意と理解を有する者	上田市丸子地区 赤十字奉仕団	～令和 7 年 6 月 18 日
滝澤 利江			令和 7 年 6 月 18 日～

令和7年度 総括

物価高騰により、生活必需品や食料品等の価格が上昇し、家計への影響が拡大するなど、生活不安が高まっています。

また、人口減少・高齢化に加え、地域活動の担い手不足や参加者の減少など、福祉課題はますます複雑化しています。

上田市社会福祉協議会では、こうした社会情勢の変化を鑑み、若者の居場所づくりをはじめ、フードドライブ事業、困窮世帯の自立支援に向けたフォローアップ事業を継続するとともに、令和7年度に上田市から重層的支援体制整備事業を受託し、包括的な支援体制の構築を進めてまいりました。

また、福祉推進委員制度廃止後の状況を把握するため、自治会を対象にアンケート調査を実施し、地域ふれあい事業の取組がいっそう充実するよう、社協の地区担当職員が自治会と連携しながら、住民どうしのつながりづくりや見守り活動の強化に取り組みました。

更に、課題解決に向けて、各種福祉関係団体・機関とも連携を図り、地域福祉の推進に努めました。

○ 令和7年度重点施策の実施状況

1 住民参加と協働による地域福祉活動

地区社協住民会議では、防災、認知症、高齢者支援、地域のつながりづくりなど各地域の課題をテーマに住民主体で協議を行い、福祉への理解と関心を深めました。

また、地域ふれあい事業では、地区担当職員が自治会役員等と連携し、世代間交流や見守り活動等を継続することで地域福祉の推進を図りました。

2 生活困窮者への重層的な支援

償還が困難な方などに対し生活状況の把握に努めるとともに、日中不在にしている方については、夜間訪問を行い状況に応じて免除申請や猶予申請につなげました。

また、生活再建につなげられるよう、出張相談会や家計見直しセミナーを開催しました。

3 資源の有効活用による持続可能な地域づくりの推進

食品が集まりにくい中、個人だけではなく自治会や企業の協力、フードドライブポストの活用により、受入増加につながりました。

また、企業から寄附をいただいた消費期限前のパンをお渡しする「パンたべよ」は、食品ロス削減サポーターに登録いただいた多くの会員にパンをお届けできました。

子ども服のリユース事業「ふくふくひろば」は、各地区のイベントの際に、出張型の「ふくふくひろば」を実施し事業の周知に努めました。

4 ボランティア地域活動センターの充実とボランティア育成の推進

上小ブロックボランティアフォーラムを開催し、多くの団体・ボランティアとの交流や情報交換、学びを深めました。

令和6年能登半島地震の被災地支援として、令和7年度は道路状況が改善されたため、中型バスを活用した災害支援活動を実施しました。

また、地域住民のボランティア活動に関する理解と関心を深められるよう、各種養成講座や体験講座を開催しました。出前福祉体験講座では、小、中学校のほか、自治会や企業でも行い理解の促進に努めました。

5 介護保険事業の経営改善と包括的な支援

居宅介護支援事業では、令和 8 年度から効率的な運営と介護支援専門員の適正な配置を図ることとし、神川介護相談センターを閉所して、居宅介護支援事業所を 3 か所から 2 か所に統合することで収支改善を図ることとしました。

デイサービスセンター事業では、利用者一人ひとりの心身状況に合わせて、生活機能向上を目的としたサービス提供に努めました。

6 地域で安心して生活できる子育て支援事業の推進

児童館・児童センターでは、多くの児童に利用されるため、子どもたちが安全に過ごせるよう、施設の巡視や環境整備を継続して行いました。

子育てひろばでは、子どもとゆっくり過ごしたいなど利用を楽しみにしている保護者も多いため、より多くの親子が利用できるよう施設の様子がわかる写真などを上田市のホームページに掲載し、周知に努めました。安心して過ごせる環境や雰囲気づくりにも取り組みました。

上田市ファミリー・サポート・センターでは、転入者も安心して利用や子育てができるよう、上田市が主催する「転入者の集い」に参加し事業の周知や会員確保に取り組みました。

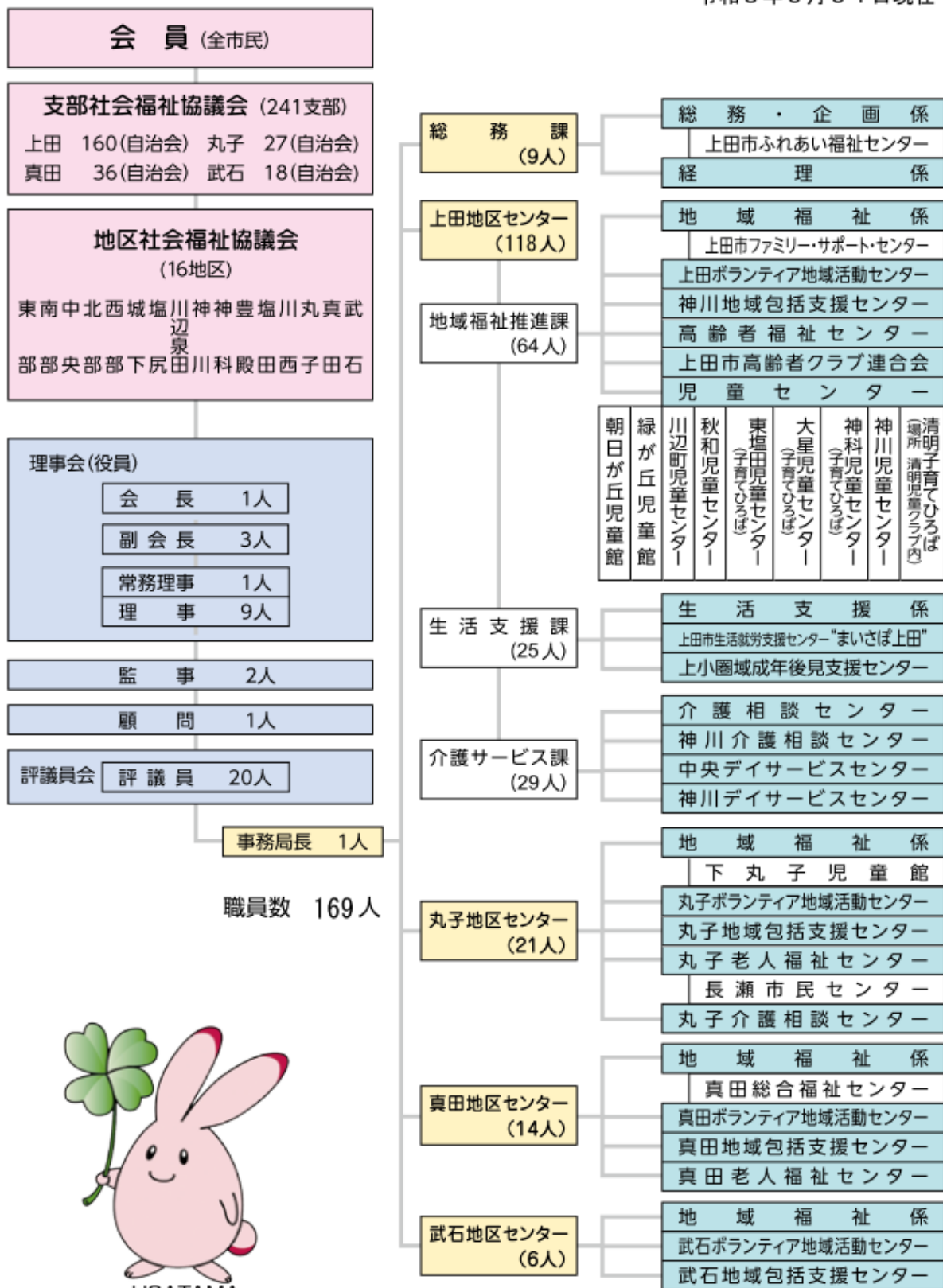
7 社協運営の基盤強化

一部未実施の研修があったが、職員研修計画に基づき各種研修を実施し、職員のスキルアップに努めました。ハラスメント対策や高齢者虐待防止などの研修を行い、関係法令の遵守と専門性の向上に取り組みました。法人として求められる基本的な支援に対する姿勢、利用者に対する適切な関わり方についての理解が深まり、職員の意識の醸成が図られました。

1 組織図

上田市社会福祉協議会組織図

令和8年3月31日現在



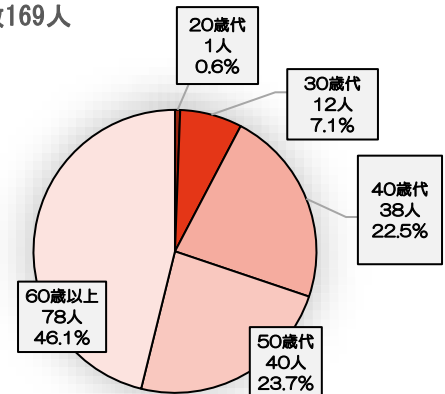
2 職員構成

(令和8年3月31日現在)

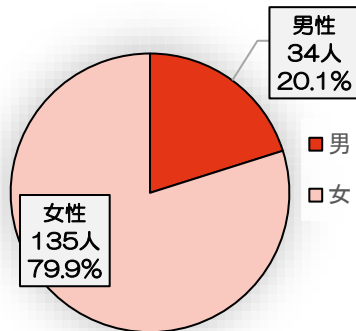
平均年齢 (単位：歳)

	平均年齢
全職員	55.2
正規職員	48.9
非正規職員	61.5

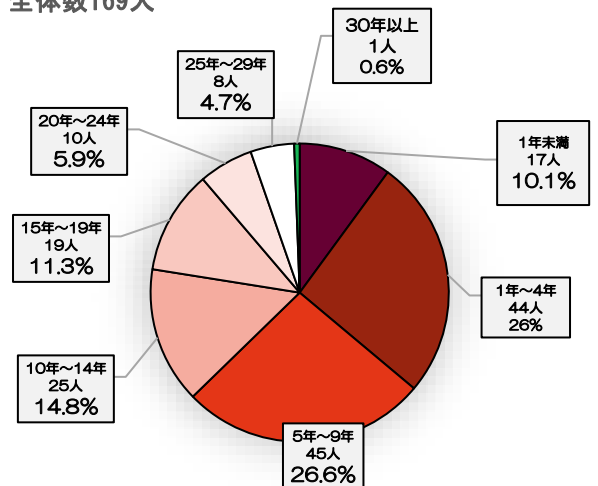
年代別割合 全体数169人



男女比 全体数169人



勤続年数 全体数169人



有資格者数 (単位：人)

資格種類	人数
社会福祉士	39
精神保健福祉士	15
介護福祉士	33
介護支援専門員	28
主任介護支援専門員	11
保健師・看護師	9
保育士	37
幼稚園教諭	32
小学校、中学校、高等学校教諭	24

3 法人運営

法人運営

事業実績		
(1) 理事会、議員会、評議員選任・解任委員会		
理事会	第 87 回理事会 令和 7 年 4 月 28 日(月)	【議案内容】 （書面議決） ・ 退任に伴う理事の推薦について ・ 第 52 回評議員会の招集について
	第 88 回理事会 令和 7 年 6 月 2 日(月)	【議案内容】 ・ 令和 6 年度事業報告及び社会福祉事業決算について ・ 任期満了に伴う理事・監事候補者の推薦について ・ 任期満了に伴う評議員候補者の推薦について ・ 評議員選任・解任委員の選任について ・ 第 53 回評議員会の開催について 【報告内容】 ・ 徴収不能債権の処理について
	第 89 回理事会 令和 7 年 6 月 24 日(火)	【議案内容】 ・ 正副会長及び常務理事の選定について ・ 顧問の委嘱について
	第 90 回理事会 令和 7 年 10 月 6 日(月)	【議案内容】 ・ 第 54 回評議員会の開催について 【報告内容】 ・ 専決処理した令和 7 年度社会福祉事業第 1 次補正予算の承認について ・ 会長及び常務理事の業務執行状況について
	第 91 回理事会 令和 8 年 1 月 24 日(土)	【議案内容】 （書面議決） ・ 理事選出団体の役員改選に伴う理事 2 人の推薦について ・ 評議員選出団体の役員改選に伴う評議員 2 人の推薦について ・ 第 55 回評議員会の招集について
	第 92 回理事会 令和 8 年 3 月 6 日(金)	【議案内容】 ・ 令和 7 年度社会福祉事業第 2 次補正予算(案)について ・ 令和 8 年度事業計画(案)及び資金収支予算(案)について ・ 定款細則の改正について ・ 組織規則の改正について ・ 経理規程の改正について ・ 役員等賠償責任保険契約について ・ 第 56 回評議員会の開催について 【報告内容】 ・ 会長及び常務理事の業務執行状況について
評議員会	第 52 回評議員会 令和 7 年 5 月 13 日(火)	【議案内容】 （書面議決） ・ 退任に伴う理事の選任について

評議員会	第 53 回評議員会 令和 7 年 6 月 18 日 (水)	【議案内容】 ・ 令和 6 年度事業報告及び社会福祉事業決算について ・ 任期満了に伴う理事・監事の選任について 【報告内容】 ・ 徴収不能債権の処理について
	第 54 回評議員会 令和 7 年 10 月 21 日 (火)	【議案内容】 ・ 専決処理した令和 7 年度社会福祉事業第 1 次補正予算の承認について
	第 55 回評議員会 令和 8 年 2 月 9 日 (月)	【議案内容】 (書面議決) ・ 理事選出団体の役員改選に伴う理事 2 人の選任について
	第 56 回評議員会 令和 8 年 3 月 19 日 (木)	【議案内容】 ・ 令和 7 年度社会福祉事業第 2 次補正予算 (案) について ・ 令和 8 年度事業計画 (案) 及び資金収支予算 (案) について ・ 定款細則の改正について
評議員選任・解任委員会	第 18 回評議員選任・解任委員会 令和 7 年 6 月 13 日 (金)	【議案内容】 ・ 上田市社会福祉協議会評議員の選任について
	第 19 回評議員選任・解任委員会 令和 8 年 2 月 17 日 (火)	【議案内容】 ・ 上田市社会福祉協議会評議員の選任について

(2) 会長業務執行状況

月	日	内 容
4 月	1 日	辞令交付式
	7 日	第 288 回課長会議
	10 日	高齢者学園入学式
	14 日	西部地区社会福祉協議会総会・住民会議
	17 日	上田市子ども会育成連絡協議会総会
	18 日	東部地区社会福祉協議会総会
	19 日	信州上田医療センター 藤森実先生退任慰労会
	21 日	上田市民生委員・児童委員協議会役員懇親会
	22 日	上田市遺族会役員総会
	23 日	丸子地区社会福祉協議会総会
	26 日	小河滋二郎博士顕彰会定期総会
	27 日	豊殿地区社会福祉協議会総会
5 月	9 日	武石地区社会福祉協議会総会
	12 日	第 289 回課長会議
	13 日	南部地区社会福祉協議会総会
	20 日	地区社協会長会
	21 日	令和 6 年度事業監査
		上田市民生委員・児童委員協議会総会
	22 日	真田地区社会福祉協議会総会

5 月	24 日	第 51 回上小地区障がい者スポーツ大会
	25 日	北部地区まちづくり協議会定期総会
	27 日	第 66 回正副会長会
	30 日	「令和6年能登半島地震」被災地支援 上田市社協災害ボランティアバン出発式
6 月	2 日	第 88 回理事会
	4 日	上田地区共同募金会運営委員会 上田市民生委員推薦会
	6 日	第 290 回課長会議
	8 日	上田市身体障害者福祉協会 令和 6 年度通常総会
	9 日	長野県共同募金会第 282 回理事会
	11 日	第 93 回信州上田医療センター地域医療諮問委員会
	17 日	上田市地域振興事業団 評議員選定委員会
	18 日	第 53 回評議員会
	24 日	第 89 回理事会
	25 日	上田市共同募金会運営委員会
	30 日	寄附贈呈式（上田ライオンズクラブ） 新旧会長挨拶回り
7 月	4 日	「小さな親切」運動上田支部理事会・定期総会 川辺・泉田地区社会福祉協議会総会
	5 日	いきいきフェスティバル 2025
	9 日	第 291 回課長会議
	23 日	苦情解決第三者委員会
8 月	12 日	第 292 回課長会議
	20 日	上田市ふれあい福祉センター地震消防訓練
	22 日	東部地区社会福祉協議会住民会議
	27 日	第 19 回上田市社会福祉協議会表彰審査委員会
	29 日	上小ブロックボランティアフォーラム 第 1 回実行委員会
	30 日	上田市防災訓練
9 月	7 日	神科地区社会福祉協議会住民会議
	8 日	第 293 回課長会議
	10 日	第 94 回信州上田医療センター地域医療諮問委員会
	11 日	寄附受領式（株式会社八十二銀行神科支店）
	16 日	寄附受領式（有限会社東郷堂）
10 月	3 日	上田市議会教育厚生委員会との懇談会
	6 日	第 90 回理事会
	8 日	苦情対応システム研修会
	10 日	上田市高齢者文化祭
	14 日	第 294 回課長会議
	19 日	第 47 回うえだ市民ふれあい広場
	20 日	寄附受領式（美し信州建設株式会社）
	21 日	第 54 回評議員会

10 月	26 日	神川地区社会福祉協議会住民会議
	29 日	第 19 回上田市社会福祉大会
	30 日	南部地区社会福祉協議会住民会議
	31 日	丸子地区社会福祉協議会住民会議 西部地区社会福祉協議会住民会議
11 月	4 日	第 295 回課長会議
	6 日	川西地区社会福祉協議会住民会議
	11 日	上小ブロック社協役職員研修会
	13 日	塩尻地区社会福祉協議会住民会議
	15 日	真田地区社会福祉協議会住民会議 城下地区社会福祉協議会住民会議
	16 日	豊殿地区社会福祉協議会住民会議
	17 日	寄附受領式（株式会社ダイナム）
	18 日	令和 7 年度上田市戦没者追悼式・遺族大会
	22 日	武石地区社会福祉協議会住民会議 北部地区社会福祉協議会住民会議
	26 日	塩田地区社会福祉協議会住民福祉大会 中央地区社会福祉協議会住民会議
	29 日	上小ブロックボランティアフォーラム
12 月	1 日	寄附受領式（長野県理容生活衛生同業組合上小支部）
	3 日	寄附受領式（小さな親切運動上田支部）
	5 日	令和 7 年度中間決算報告会
	8 日	第 296 回課長会議
	11 日	上田市民生委員・児童委員委嘱書伝達式
	12 日	寄附受領式（JA 信州うえだ農業協同組合）
	17 日	寄附受領式（株式会社レクスト・アイ、上田信用金庫） 信州上田医療センター地域医療諮問委員会
1 月	5 日	仕事始めの式 新年あいさつ回り
	8 日	上田商工会議所新春賀詞交換会
	17 日	上田青年会議所新年懇親会
	19 日	第 297 回課長会議
	28 日	上田地区保護司会新年懇親会
2 月	2 日	寄附受領式（ろうきん丸子支店）
	4 日	長野県シニア大学上小学部卒業式
	12 日	第 298 回課長会議
	27 日	第 67 回正副会長会
3 月	4 日	令和 7 年度社会福祉トップセミナー
	6 日	第 92 回理事会
	9 日	第 299 回課長会議
	11 日	上田市高齢者学園卒業式

3月 11日	信州上田医療センター地域医療諮問委員会
13日	地域福祉推進フォーラム
19日	第56回評議員会
27日	上小地域包括医療協議会定時総会
31日	辞令交付式

※ その他内部用務
事業運営指導、渉外業務、事務処理 等

(3) 第19回上田市社会福祉協議会 表彰審査委員会 8月27日(水)

(4) 苦情解決第三者委員 7月23日(水)

(5) 上田市社協職員衛生委員会 12回

(6) ブロック会議
6月6日(金) 上小ブロック社協連絡会議(上田市ふれあい福祉センター)
11月11日(火) 上小ブロック社協役職員研修(上田市丸子文化会館)

(7) 福祉人材の育成
社会福祉士実習生受入れ 4人(長野大学、佐久大学、高崎健康福祉大学)
小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る介護等体験受入れ 9人(信州大学、明星大学、長野医療衛生専門学校)
看護学生の受入れ 6人(上田看護専門学校)

社協会費

【事業概要】

社協の会員会費制度は、市民一人ひとりが福祉の関心を持ち、積極的に地域の福祉活動に参加していただくことを目的としている。

会員になることが、福祉活動に参加することと同じ意味を持っており、地域福祉を支える大きな力になる。地域福祉の主役である市民と、それを推進する社協が一体となり、福祉のまちづくりを行うために欠かせない仕組みである。

事業実績					
社協会費納入実績・推移					(単位：円)
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
普通会費	23,614,694	23,246,102	22,932,154	22,760,953	22,214,001
特別会費	1,497,000	1,420,000	1,293,000	1,213,000	1,072,500
法人会費	2,717,560	2,520,000	2,415,000	2,606,000	2,484,890
団体会費	168,000	171,000	159,000	168,000	174,400
合 計	27,997,254	27,357,102	26,799,154	26,747,953	25,945,791

評価・課題	
納入実績に大きな減少があった。特別会員の退会や、法人会員の納入口数減少が大きく影響した。 会費の意義や社協事業について地域住民、関係団体への周知と理解促進に努めた。	

社会福祉大会

【事業概要】

市内の社会福祉活動功労者や優良団体の表彰と福祉課題に対する講演会等を開催し、社会福祉の推進、啓発を行っている。

事業実績
(1) 上田市社会福祉大会 10月29日(水) (サントミュージゼ) 430人参加 ア 内 容 (ア) 式典 表彰者 66人、7団体 感謝 4人、1団体 (イ) 講演会 講 演：「災害時における自助・共助が生き残りの道～福祉のまちづくりと防災～」 講 師：立木 茂雄 氏 同志社大学社会学部 教授 (2) 長野県社会福祉大会 長野県社会福祉協議会 会長表彰 永年勤続者表彰 1人 ボランティア団体表彰 3団体
評価・課題
式典では、多くの表彰者を祝うことができた。 講演会は、講師からいざというときの自助力・共助力、平時に備えを高める行政力の三位一体が必要とお話いただき、参加者にも好評であった。

人材育成

【事業概要】

職員研修計画を策定し、専門性を高めるとともに視野を広げ、スキルアップを図るための研修会への積極的な参加を進めている。

事業実績
(1) 新規採用職員研修会 7人参加 (2) 社会福祉協議会基本要綱2025研修会 14人参加 (3) 交通安全研修会 53人参加 (4) アセスメント研修会 55人参加 (5) 高齢者虐待防止研修会 33人参加 (6) 文書事務研修会 41人参加 (7) 会計事務研修会 21人参加 (8) ハラスメント研修会 63人参加 その他担当業務に関する外部研修に必要なに応じて参加した。
評価・課題
職員研修計画に基づき各種研修を実施し、職員の専門性向上と資質向上を図ることができた。 また、高齢者虐待防止やハラスメント防止など法人として必要とされる研修のほか、アセスメント研修を実施し、実務に必要な知識を学ぶことで、業務への意識向上につながった。 一部未実施の研修があったため、職員一人ひとりの専門性の向上と組織力の強化につなげていくため、職員研修計画に基づき、計画的に実施していく必要がある。

出前講座

【事業概要】

自治会や企業、団体等からの依頼に基づき、社協職員が出向き、各種講座を無料で行っている。

事業実績					
実績推移		(単位：回)			
講座名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
上田市社協の事業説明等	4	2	3	3	2
障がいがある人の理解と体験	0	3	3	0	6
高齢者疑似体験	0	3	2	0	4
住民支え合いマップの活用方法	2	0	3	0	0
いきいき体操	6	12	22	18	13
エンディングノートについて	1	2	4	7	2
ボッチャ・モルック体験	0	12	31	54	50
タオル犬作り	1	3	4	5	1
小物づくり	0	1	3	2	4
着ぐるみ「うさたま」の出張	0	0	1	2	2
合計	14	38	76	91	84
評価・課題					
自治会、地区社協、民生委員・児童委員協議会等に出前講座のちらしを配布したり、広報紙「社協うえだ」やホームページ等で事業周知を行ったことにより、多くの依頼があった。 また、自治会からの依頼だけではなく、各種福祉団体や小学校PTAなどからの依頼も増え、広く市民に社協を知ってもらおうきっかけとなった。 引き続き、多くの方に利用していただくために、講座の内容を検討し、充実させていく必要がある。					

4 善意銀行

善意銀行

【事業概要】

市民や企業、団体から寄せられた金品を、必要とされている方や学校、施設等へ受け渡す「橋渡し」を行っている。

事業実績					
(1) 実績推移					
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
寄附（件）	200	198	287	308	360
現金（円）	34,586,197	1,569,282	1,447,582	1,870,006	7,047,687
物品（円）	957,750	1,211,722	1,241,455	1,240,212	997,933
寄附合計（円）	35,543,947	2,781,004	2,689,037	3,110,218	8,045,620
(2) 主な寄附品					
食品（お米、レトルト食品等）、衣類、紙おむつ、尿取りパット、使用済切手、はがき					
評価・課題					
令和6年度を上回る、多くの寄附の申出を受け入れることができた。受け付けた寄附は、必要としている個人、団体、福祉施設等に受け渡しをすることができた。 また、災害義援金の受付も行い、随時、各共同募金会を通して被災地へ義援金を送ることができた。					

ふくふくひろば

【事業概要】

まだ使用できる子ども服を提供いただき、これから必要な子育て家庭にお譲りしている。

事業実績					
(1) 利用実績推移					
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
寄附（点数）	7,719	8,333	8,013	7,686	7,289
持ち帰り（点数）	5,884	6,203	6,615	6,675	5,538
利用者（人）	732	885	1,044	1,066	896
(2) 週末開催 1回 持ち帰り点数 477点 58組 120人 来場					
(3) 出張ふくふくひろば 3か所					
(4) 子ども服回収BOX協力企業 4か所					
評価・課題					
事業周知のため、上田市と連携して、上田市内の保育園で使用している情報伝達アプリや、上田市の資源・ごみ分別アプリを使用した。また、他機関とも連携し、上田市内各児童クラブにポスターの掲示を実施した。 企業に子ども服回収BOXを設置してもらい、4か所から合計455点の子ども服を寄附していただいた。 また、西部、真田、丸子地区のイベントの際に出張型の「ふくふくひろば」を実施した。 地域によっては、認知度が低いため、出張型の「ふくふくひろば」の頻度を増やし、事業周知に努めた。協力いただける企業や団体との連携を継続していきたい。					

フードドライブ事業

【事業概要】

食品ロスと食糧支援を結びつける活動として、家庭などにある使い切れない食品を募っている。寄附していただいた食品は、地域の福祉団体や子ども食堂など、必要としている団体や個人に届けている。

事業実績					
(1) フードドライブ					
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
提供者（延べ人数）	346	651	384	656	708
受入（品）	10,913	14,839	6,689	13,900	13,748
受入総量（kg）	8,641	8,246	3,472	5,983	6,536
(2) フードドライブポスト					
令和6年8月26日に、(株)バローホールディングズと「食品ロス削減と食糧支援に向けた取組に関する協定」を締結し、バロー秋和店にフードドライブポストを設置した。					
	令和6年度	令和7年度			
受入（品）	83	567			
受入総量（kg）	17	115			

(3) フードドライブ・米・CAR

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
配布(回)	2	2	3	1
参加者(延べ人数)	214	106	102	62

(4) もぐもぐサポーター(通称:もぐサポ)

フードドライブ事業で集まった食品を、ひとり親世帯の方々へお渡しし、食品ロス削減に協力していただいている。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
登録者(人)	42	133	185	146	127
払出(品)	1,772	1,651	15,869	15,449	9,975
払出総量(kg)	1,371	873	5,778	2,507	1,712

(5) パンたべよ

企業から賞味期限前の余ったパンを寄附していただき、もぐサポ会員に届ける活動

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
受入(個)	462	932	3,115	2,529
払出(個)	462	932	3,115	2,529

評価・課題

物価高騰の影響により、食品が集まりにくい中、個人だけではなく自治会や企業の協力により、受入総量増加につながった。もぐサポ会員の方から、感謝のメッセージをいただき、社協の窓口やフードドライブ会場に掲示した。もぐサポ会員の声を届けることができたことも、寄附者増加につながったと思う。

令和6年8月からバロー秋和店に設置されているフードドライブポストは、寄附場所として定着しており、食品の受入品数が増加した。

お米の寄附は少ない状況ではあったが、長野大学で配布会を実施し、学生250人にお米を配布することができた。

また、フードドライブ・米・CARを1回開催することができた。

今後も、もぐサポ会員や生活困窮者の増加が予想されるため、食糧支援について検討していく必要がある。

5 企画・広報

【事業概要】

社協事業や福祉推進に関する調査研究を行うとともに、福祉関係情報の収集及びその周知を行っている。

事業実績

(1) 新たな事業の企画に向けた調査・研究

自治会からの要望や、市民からの意見をもとに、社協の特性を活かした出前講座の内容の検討や新たな事業の企画等を行った。

(2) 広報紙「社協うえだ」の発行

社協の広報や福祉に関する情報源として、講座、イベント、各地域で行われている福祉活動の様子などを掲載し、偶数月に市内全世帯、学校関係や社協法人会員へ配布した。

また、さまざまな人の意見を反映するため、市民で構成する広報委員会を実施した。

広報委員会：年6回 広報委員5人

(3) 「社協ホームページ」の活用

社協が行う各種福祉サービスをはじめ、ボランティア情報、災害支援情報、社協職員の募集など、さまざまな情報を発信した。

(4) 社協オリジナルグッズの製作及び販売

窓口で、社協オリジナル軍手ィの販売を行った。

上田市内高等学校 2 校の文化祭とイベントに参加し、社協のちらし、社協オリジナルウェットティッシュの配布や軍手ィの販売等を行い、若い世代へ社協の広報活動を行った。

実績推移

(単位：双)

	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
軍手ィ販売数	131	88	19	21

(5) エンディングノート「絆」の販売

窓口や出前講座の他、市内書店等で、店頭販売を行った。

実績推移

(単位：冊)

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
エンディングノート販売数	13	89	62	176	120

(6) レクリエーション備品の貸出し

自治会や子ども食堂等へレクリエーション備品の貸出しを行った。

実績推移

(単位：件)

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
輪投げ	0	2	26	25	27
的当て	0	2	25	22	29
ボッチャ	-	4	58	53	54
モルック	-	-	41	31	39
レクリエーションネット	0	0	4	4	3
エアボール	0	0	5	4	3

評価・課題

広報委員会を定期的に開催し、広報委員から意見を聴取して、市民の声を反映させた広報紙づくりに努めた。

また、社協オリジナルウェットティッシュを作成し、高等学校の文化祭や上田市社会福祉大会等で配布し、学生から自治会役員等まで幅広い世代に周知活動を行った。

今後は SNS の活用を検討し、ホームページについても、分かりやすく、親しみやすいページ作りを進める。引き続き、子育て世代や高校生・大学生といった若い世代向けの広報活動を継続していく。

6 希望の旅事業

【事業概要】

旅行に出る機会が少ない在宅の重度障がい者の方に、社会交流の場とレクリエーションの機会をつくり、より生きがいを高めることを目的に、一泊二日または日帰りの旅行を実施している。

事業実績

11 月 19 日、20 日に、富山方面へ一泊二日の旅行を実施し、5 組 10 人が参加した。

評価・課題

近年参加者が固定化していたが、令和 7 年度、新規での参加者が 2 組あった。引き続き、周知と内容を検討していく。

また、付添者の高齢化により、旅行中、職員の介助が必要な場面が増えてきているので、今後、参加条件や職員の配置等を検討していく必要がある。

7 上田市ファミリー・サポート・センター事業（市受託事業）

【事業概要】

子育ての手助けをしてほしい人と、子育てのお手伝いをしたい人が会員として登録し、子育ての相互援助を有償で行う会員組織である。

事業実績					
(1) 活動実績推移					
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動(回)	1,507	1,801	1,481	1,193	1,171
活動時間(時間)	1,371.5	1,559	1,438	1,354.5	1,233
利用会員(人)	320	372	338	356	329
(2) 会員数推移 (単位：人)					
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
依頼会員	447	425	417	429	429
提供会員	286	283	289	291	293
両方会員	55	48	62	63	78
(3) 前期講習会 4日間 35人参加					
(4) 後期講習会 4日間 28人参加					
(5) 会員交流会 2回 40人参加					
(6) フォローアップ研修会 53人参加					
(7) 提供・両方会員情報交換会 18人参加					
(8) 「転入者の集い」への参加 5回					
評価・課題					
上田市と協議し、子育て支援センターや子育てひろば等の公共施設でお子さんの預かりが行えるようになり、会員間でも少しずつ定着してきた。					
また、令和7年度から児童虐待防止に関する講習の受講が必須となり、フォローアップ研修会で、提供会員や両方会員向けに実施した。					
特別な支援を必要とするお子さんのサポートについては、ここ数年、増加しており、今後も上田市など関係機関と連携し、利用支援を行っていく。					
長年、活動していた提供会員が、高齢化により退会するケースや車での送迎ができなくなる提供会員が増えている。上田市主催の「転入者の集い」等に参加し事業周知を行い、提供会員や両方会員の獲得に力を入れているが、提供会員数は横ばいである。今後、サポートのマッチング体制を整えていくことが必要となっている。					

8 福祉推進事業

社協お結びサポーター事業

【事業概要】

住民どうしによるふれあい、支え合いの仕組みづくりをお手伝いするために平成28年度に「社協お結びサポーター」を配置した。

現在、川辺泉田・城下・豊殿・丸子・真田・武石の6地区に配置されており、地域の関係者や関係団体と協働しながら、人と人、人と地域、人と機関を結びつけるお手伝いを行う。

事業実績					
活動実績		(単位：回)			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
自治会への訪問	39	1	57	21	8
サロンへの訪問	12	2	5	68	83
子育て事業への参加	13	14	24	38	20
その他(会議への参加等)	31	104	56	14	19

評価・課題	
令和元年に上田市が、地域包括支援センターごとに配置した生活支援コーディネーターとお結びサポーターの役割が重複していることや、自治会内でのお結びサポーターの位置づけが明確でなく、連携が難しいという現状を踏まえ、令和7年度をもってお結びサポーター事業を廃止することとした。 廃止後は、地区担当職員がよりいっそう地域に関わっていく中で、サポート体制を継続していくこととなった。	

地区社協住民会議

【事業概要】

地域住民が主体となって、さまざまな地域福祉の課題について問題を協議し、相互に地域福祉に関心と理解を深め、福祉のまちづくりを目指すため、全16地区社協で開催している。

事業実績		
活動実績		
地区名	内容	参加人数
東部	講演「認知症にまつわる介護について」	48人
南部	講演「遺言と成年後見制度、特殊詐欺の被害防止対策について」	29人
中央	講演「ごみはどうやって出すの？どのようにリサイクルされるの？」	25人
北部	講演「スマホ片手に、ご近所防災！シニア会 LINE が起こした変化」	47人
西部	講座「珈琲講座入門とおいしい珈琲の入れ方」 活動紹介「男のカフェ」の取り組みについて	36人
城下	講演「ユニバーサルデザインについて」 体験「高齢者擬似体験」	20人
塩尻	講演・ワークショップ「地域の防災・減災について」	84人
川辺・泉田	講演「能登半島地震ボランティア体験談と現状について」 体験「被災地のトイレ事情と簡易トイレの使い方」	51人
神川	講演「声から口から若返る-話して笑って健口(幸)生活-」	70人
神科	講演「災害時要支援者登録制度について、日頃の地域の支え合いから災害にも強い地域づくり」 活動紹介「自治会における地域福祉活動について」	74人
豊殿	講演「高齢者等の身寄り問題を考える～誰もが安心して暮らし続けられる地域のために～」	46人
塩田	講演「声から口から若返る-話して笑って健口(幸)生活-」	84人
川西	講演「川西地域における防災対策について」 体験「防災用品の紹介と体験」	50人
丸子	講演「特殊詐欺の被害防止対策について」	50人
真田	講演「人と人とのつながりは何を生むか～社会学・教育学・心理学から見たウェルビーイングな地域づくり～」	47人
武石	講演「共に生きる武石のつながりづくり～みんながいつまでも元気で暮らし続けるために～」	49人

評価・課題
高齢者の身寄り問題から、人・地域のつながり、防災などの多様なテーマで、各地域ごとの住民会議が開催された。 地域課題を「自分ごと」として捉え、住民が主体となり、社協、上田市が連携して議論できる住民会議になるよう、福祉のまちづくりの推進に努める。

住民支え合いマップづくり

【事業概要】

支援が必要な人や、支援者等を住宅地図上に書き込み、日ごろの地域での支え合い活動や災害時の支援、共助の仕組みづくりに活用する。

事業実績					
住民支え合いマップ作成実施自治会状況			(単位：自治会)		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
協定書締結自治会	182	182	183	183	189
完成自治会	225	228	232	214	218
更新自治会	112	92	103	90	95
評価・課題					
災害時だけでなく、自治会での日ごろの支え合い活動にも役立てられるよう、上田市と社協が連携しながら取り組んだ。 新規登録者の情報については、上田市と協力してマップへ反映し、随時更新作業を行った。更新作業が進んでいない自治会については、今後も引き続き更新を促していく。 また、マップの活用状況については、社協の地区担当職員が自治会役員等への聞き取りを行い、状況把握に努めた。 役員交代で更新が行われていない自治会については、マップの活用事例などの情報を提供し、更新を働きかけていきたい。					

車いす、特殊寝台貸出事業

【事業概要】

上田市在住の高齢の方、身体に障がいのある方、一時的に歩行や日常生活を営むことが困難になった方に対し、車いすや特殊寝台を一定期間無料で貸出しを行っている。

事業実績					
(1) 車いす貸出事業 貸出件数			(単位：件)		
地区	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
上田	113	126	94	113	90
丸子	33	36	38	22	30
真田	9	21	9	17	7
武石	1	3	6	3	3
合計	156	186	147	155	130
(2) 特殊寝台貸与事業 貸出件数			(単位：件)		
地区	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
上田	8	4	6	2	2
丸子	2	1	2	1	2
真田	0	0	0	0	0
武石	1	4	1	2	1
合計	11	9	9	5	5

その他(高齢者福祉事業)

事業実績	
(1) 真田地区センター 一人暮らし高齢者親睦会 3回 延べ72人参加	
(2) 武石地区センター ア 高齢者サロン事業 (ア)介護予防体操 24回実施 延べ1,011人参加 (イ)楽しい会〜!! 6回実施 延べ123人参加 イ 武石地域敬老会事業 9月 125人参加	
評価・課題	
(1) 真田地区センター 親睦会では、おはぎづくりや楽器演奏に合わせて歌を歌ったり、筒けん体験などを実施し、ふれあいの旅としては季節を感じる行程や食事を楽しめるバス旅行を実施した。参加者からは毎回好評をいただいているが、今後も継続していけるよう、財源の確保を始め、参加しやすい企画を検討していく。	
(2) 武石地区センター ア 高齢者サロン事業 更に高齢者の生きがいと健康づくり支援を推進するため、「楽しい会〜!!」・「介護予防体操」の内容見直しとともに、ちらしの配布や声がけ等を行い利用促進を図る必要がある。 イ 武石地域敬老会 参加者からは、大変好評を得ている。地域全体の敬老会として今後も継続的に開催できるよう、地区社協や上田市、自治会等と連携しながら行っていく。	

9 点字・声の広報発行事業(市受託事業)

【事業概要】

広報うえだ、うえだ市議会だより、社協うえだの内容を点訳やテープへの録音により、視覚障がい者へ情報提供を行う。

事業実績					
(1) 点字広報利用者			(単位：人)		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
広報うえだ	12	12	9	9	9
うえだ市議会だより	7	8	6	5	6
社協うえだ	20	17	17	11	8
丸子地域自治センターだより	7	5	5	4	4
(2) 声の広報(CD)利用者			(単位：人)		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
広報うえだ	11	8	8	8	8
うえだ市議会だより	9	8	8	6	6
社協うえだ	11	10	10	8	8
丸子地域自治センターだより	5	5	4	3	6

(3) 声の広報（カセット）利用者					(単位：人)
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
広報うえだ	7	6	5	6	2
うえだ市議会だより	8	7	5	7	3
社協うえだ	8	7	7	6	2
丸子地域自治センターだより	3	3	3	3	1
評価・課題					
視覚障がい者への情報保障について、点訳・音訳ボランティアと連携して「点字・声の広報」の発行を行った。利用状況については減少傾向にある。必要としている方への情報提供等が課題となっている。					

10 日常生活自立支援事業（県社協受託事業）

【事業概要】

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等のうち判断能力が不十分な方に対し、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等の支援を行うことにより、地域において自立した生活が送れるよう支援を行う。

事業実績					
(1) 日常生活自立支援事業					
ア 相談内容					(単位：件)
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
認知症高齢者関連	1,002	1,578	1,669	1,305	356
知的障がい関連	3,916	4,788	6,405	3,099	1,683
精神障がい関連	3,727	3,624	4,438	3,834	1,314
その他	83	110	128	68	128
合 計	8,728	10,100	12,640	8,306	3,481
イ 契約状況					(単位：件)
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
新規契約数	8	10	7	3	1
累計契約件数	240	250	257	260	261
解約件数	14	10	7	19	16
累計解約件数	169	179	186	205	221
現在の利用者数	71	71	71	55	40
ウ 支援回数					(単位：回)
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
専門員・生活支援員援助回数	1,670	1,803	1,856	1,840	1,192
(2) 金銭管理・財産保全サービス事業 契約件数 0 件					
評価・課題					
令和6年度に本事業の利用条件について見直しがされ、解約者数が増加した。 事業の利用に関する相談については、金銭管理に関するものが多く、事業の利用対象外となる方が多い。新規契約に関する相談については、支援の必要性について十分なアセスメントを行った上で、審査会に諮る必要がある。					

1 1 地域ふれあい事業

地域ふれあい事業（市補助事業）

【事業概要】

地域の特性に応じた、住民参加による交流や助け合い活動等を通じて、明るく活力ある地域を創造することを目的としている。

事業実績			
実施内容	自治会数	実施内容	自治会数
世代間交流に関する事業	135	敬老会	182
生きがいづくり事業（茶話会・健康体操含む）	186	ボランティア活動	16
住民支え合いマップ作り・更新	31	環境整備事業	65
広報・啓発活動	11	子育て支援に関する事業	82
学習講座	51	その他	36
訪問活動（配食含む。）	75		
評価・課題			
福祉推進委員制度廃止後、地域での活動が継続できるかが課題であったが、福祉推進委員に代わる役員を選任する自治会が多数あり、その役員が中心となり地域での活動を継続することができた。			
今後も、社協の地区担当職員が自治会役員等と連携し、地域での活動が継続できるよう推進していく必要がある。			

1 2 上小圏域成年後見支援センター事業(上田市・東御市・長和町・青木村・坂城町受託事業)

【事業概要】

上小圏域（上田市・東御市・長和町・青木村）、坂城町にお住まいの方を対象に、認知症や知的障がい、精神障がいなどにより判断能力の不十分な方々が、住み慣れた地域で安心して暮らせるように成年後見制度などの利用支援を行う。

事業実績
(1) 広報業務 ア 成年後見制度等の普及及び啓発に関すること。 実施回数 5 回、参加人数合計 184 人
(2) 相談業務 ア 支援対象者及びその関係者からの成年後見制度等に関する相談対応 イ 地域における相談体制の強化を図るための研修会の開催 実施回数 6 回、参加人数合計 136 人
(3) 利用促進業務 ア 行政職員等からの市町村長申立支援に関すること。 上田市 12 件、長和町 3 件、青木村 1 件 このうち、11 件については法人後見として受任した。 イ 成年後見、保佐及び補助の申立支援に関すること。 新規相談 99 人、継続相談 116 人： 合計 215 人 ウ 第三者後見人の紹介に関すること。 後見人交流会の開催 実施回数 1 回 内 容：認知症希望大使の春原治子さんと家庭裁判所書記官によるプチ講座、交流会 参加人数 14 人

- エ 後見人等候補者の推薦に関すること（受任調整に関すること。）
適切な後見人等候補者推薦を行う小委員会を 11 回開催
検討事案件数 28 件 （再検討 1 件）
依頼先別件数 行政書士会 5 件、社会福祉士会 1 件、精神保健福祉士協会 1 件
法人後見 20 件
- オ 法人後見に関すること。
後見報酬が見込めない方や、第三者後見人が引き受けることが困難な方に対して、上田市社会福祉協議会が法人として後見業務を受任した。
新規受任件数 14 件（平成 25 年度からの累計 130 件）
継続受任件数 74 件
- カ 市民後見人の養成、受任調整及び監督業務に関すること。
市民後見人 7 人 （平成 31 年度からの 累計 15 件）
- (4) 後見人等支援業務
ア 親族後見人、第三者後見人等からの成年後見制度に関する手続支援に関すること。
イ 親族後見人、第三者後見人等への相談支援に関すること。
- (5) 地域連携ネットワークの構築に関すること。
高齢者・障がい者権利擁護地域連携ネットワーク協議会の開催
実施回数 3 回、参加人数合計 67 人
- (6) 権利擁護の促進に必要な事業に関すること。
4 市町村との懇談会 5 回
- (7) その他、センターの運営に関し、必要な事務に関すること。
運営委員会 3 回、小委員会 11 回、市民後見推進委員会 1 回、研修会参加 6 回

(8) 相談件数及び相談者の状況

ア 相談件数 (単位：件)

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
新規相談	62	111	121	91	99
継続相談	237	259	272	169	116
合計	299	370	393	260	215

イ 対象者別 (単位：件)

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
認知症高齢者	119	121	203	85	74
知的障がい者	21	20	45	32	41
精神障がい者	92	149	66	87	47
身体障がい者	3	8	2	2	2
複合	25	18	27	24	11
任意後見	14	23	25	8	9
その他	25	31	25	22	31
合計	299	370	393	260	215

ウ 市町村別 (単位：件)

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
上田市	243	304	285	242	157
東御市	37	32	17	9	26
長和町	3	0	48	7	15
青木村	12	7	30	1	5
その他	4	27	13	1	12
合計	299	370	393	260	215

(9) 法人後見業務 相談件数及び相談者の状況

ア 類型

(単位：件)

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
後見	2,817	3,411	3,015	3,043	3,185
保佐	3,834	3,878	3,770	3,487	3,894
補助	225	404	459	484	428
合計	6,876	7,693	7,244	7,014	7,507

イ 対象者別

(単位：件)

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
認知症高齢者	1,654	1,814	1,954	1,390	1,019
知的障がい者	2,500	3,203	2,822	3,190	3,184
精神障がい者	1,728	2,353	2,142	1,996	2,968
身体障がい者	0	0	0	0	0
複合	989	323	214	286	277
その他	5	0	112	152	59
合計	6,876	7,693	7,244	7,014	7,507

ウ 市町村別

(単位：件)

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
上田市	5,736	6,002	6,017	5,233	5,693
東御市	611	678	513	597	534
長和町	408	952	659	1,051	1,204
青木村	73	61	55	48	76
その他	48	0	0	85	0
合計	6,876	7,693	7,244	7,014	7,507

評価・課題

市民後見人養成講座では、初の試みとしてオンデマンド教材を使用し、受講しやすい環境を整備した結果、受講者が増加した。講座修了者のうち3人が、法人後見支援員として市民後見人を目指すこととなった。

上田市社協で受任する法人後見では、受任者数が年々増加している。要因として、福祉的な要素が強い事例の増加により、専門職の対応が困難なことが挙げられる。

また、近年の受任傾向では認知症高齢者が減少し、若年層を含む精神障がい者、知的障がい者が増加している。この傾向は今後も続く予想され、制度を必要とする方々の受け皿不足が課題になると思われる。解決への糸口として、当センターが事務局となっている中核機関「上小圏域高齢者・障がい者権利擁護地域連携ネットワーク協議会」の機能を活用し、各団体による意見交換や協議が必要である。

13 上田市生活就労支援センター“まいさぼ上田”事業（市受託事業）

【事業概要】

上田市から生活困窮者自立生活支援事業、生活困窮者家計改善支援事業、生活困窮者就労準備支援事業を受託し、生活困窮者自立支援法に基づき、支援員が相談者の課題を把握し、相談者の状況に応じた支援プランを立てながらさまざまな支援を行っている。

事業実績					
(1) 相談者数及び相談件数の推移					
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
新規相談者(人)	584	349	257	253	314
延べ継続相談者(人)	2,270	2,046	1,519	1,365	1,399
延べ相談数(件)	7,933	7,214	5,984	5,058	5,613
(2) 各種講座の開催					
ア ペアレント・トレーニング講座 10回 延べ38人参加					
イ ペアトレ*ぷらす講座 6回 延べ19人参加					
ウ ボランティア活動 19回 延べ141人参加					
エ 体操くらぶ 12回 延べ12人参加					
オ YOLO'S 勉強会 12回 延べ35人参加					
カ My ふおと倶楽部 12回 延べ52人参加					
キ ボールペン美文字講座 10回 延べ33人参加					
評価・課題					
相談者の方が関心を持てる講座の内容を工夫し、新たに社会参加できる場所を増やしたことで、相談者が社会参加する機会の増加につながった。講座により参加人数にばらつきがあるため、内容や開催方法を見直し、社会参加が難しい方が社会と関わるきっかけをつくれるように工夫をしていく。					
相談内容が生活困窮だけでなく複合しており、一つの機関では完結が難しく、支援が長期化している事例については、引き続き、関係機関との連携や役割分担をしながら対応をしていく必要がある。					
また、物価高騰が背景にあり、家計収支のバランスを保つことが難しくなっている方の相談も増加傾向にあるため、家計支援と併せて就労支援が行えるよう体制を整えていく必要がある。					

1.4 重層的支援体制整備事業（市受託事業）

【事業概要】

高齢、障がい、子ども、生活困窮の各分野で行われている既存の相談支援や地域づくり支援の取組を活かし、「複雑化・複合化した支援ニーズ」に対応できる包括的な支援体制を構築するため、「相談支援」、「参加支援」、「地域づくりに向けた支援」を一体的に実施する。

事業実績	
(1) 相談人数及び相談件数	
	令和7年度
新規相談者(人)	39
延べ継続相談者(人)	88
延べ相談(件)	807
(2) 各分野別相談内訳 (単位：人)	
	令和7年度
高齢者	5
障がい者	0
子ども	0
生活困窮	66
その他	56

(3) 支援会議及びプラン策定（新規プラン・再プラン）件数	
	令和7年度
支援会議（回）	10
重層的支援会議（回）	7
個別プラン策定（件）	4
評価・課題	
移行期間であった令和7年度は、障がい分野と子ども分野からの相談はなかった。 何回かの相談対応で解決する相談が多く、個別プラン策定まで至らなかった。本実施に当たり、各分野及び関係機関への事業周知が必要である。	

1 5 有償在宅福祉サービス事業

福祉移送サービス

【事業概要】

日常の外出において単独ではバス、タクシー等の公共交通機関の利用が困難な方に対して、スロープ付きの車いす対応の福祉車両で送迎を行う。

事業実績					
(1) 上田地区センター					
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
登録利用会員数(人)	63	70	77	83	89
登録協力会員数(人)	6	6	6	6	3
利用回数(回)	587	594	551	440	243
延べ利用会員数(人)	180	178	177	140	96
(2) 丸子地区センター					
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
登録利用会員数(人)	31	33	32	30	29
登録協力会員数(人)	10	8	8	8	6
利用回数(回)	677	541	657	676	528
延べ利用会員数(人)	366	300	321	311	245
(3) 真田地区センター					
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
登録利用会員数(人)	10	11	12	13	11
登録協力会員数(人)	8	8	6	6	6
利用回数(回)	33	21	28	9	1
延べ利用会員数(人)	11	12	17	8	1
評価・課題					
本人、家族、関係機関からの問い合わせが多数あった。利用会員が増加している。 しかし、新規の申し込みが寄せられる中、協力会員不足などで対応できない状況があった。 今後、協力会員確保のため、移送サービス講習を受講した方への事業周知や、引き続き、広報紙「社協うえだ」等を通じ協力員の登録の呼びかけを行っていく。					

ご用聞きサービス

【事業概要】

日ごろの生活の中で感じている困りごとを住民どうしの助け合いにより支援を行っている。

事業実績					
(1) 利用回数及び会員数					
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用(件)	102	101	109	24	28
利用会員(人)	49	48	30	31	28
協力会員(人)	157	97	78	30	23
(2) 活動内訳 買物代行 19件 ごみ出し 4件					
評価・課題					
定期的に利用していた会員が、入院等で利用を中止したため、利用件数が減少した。 また、新規の相談があっても、ご用聞きサービスの対象とならないケースが何件かあった。 今後、ご用聞きサービス事業の見直しを検討していく中で、自治会や地区単位で独自に行っている組織との連携が課題である。					

16 心配ごと相談事業

【事業概要】

複雑化する社会の中で、さまざまな相談に応じる必要が高くなっている。社協の相談事業は、どんな悩みでも、だれでも、気軽に相談できる安心のネットワークの一環として、相談はすべて無料で実施している。

(1) 法律相談事業

弁護士による法的な悩みを解決する無料の法律相談(予約制)

(2) 心配ごと相談事業

全市民を対象にさまざまな相談に応じ、関係機関と連絡を密にして、問題の解決に努める。

(介護、福祉サービス、家庭内の問題等)

事業実績					
(1) 法律相談(上田・丸子) 相談員：弁護士1人 相談日：上田地区センター：毎月第3土曜日 午前10時から正午 丸子地区センター：3月を除く奇数月 午後1時30分から午後3時30分 相談内容：離婚、家族関係、相続、金銭トラブル、土地に関するトラブルなど					
(2) 心配ごと相談 相談日：毎週月曜日から金曜日 午前9時から午後5時15分 相談内容：障がい者福祉、人間関係、消費者トラブル、ひきこもりなど					
(3) 相談件数推移 (単位：件)					
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
法律相談	55	73	61	66	68
心配ごと相談	40	70	67	78	126

評価・課題
心配ごと相談事業について、民生委員・児童委員会の定例会で事業内容を周知する機会が少なく、「はればれ電話」について、地域住民に気軽に利用してもらえるよう、周知していく必要がある。

17 結婚相談事業

【事業概要】

独身者の出会いを提供するお手伝いとして結婚相談や、婚活パーティーなど行っている。

上田地区と丸子地区の2か所で相談を行っており、どちらの窓口でも登録を受け付けている。

登録・相談は、いずれも無料。

また、県内広域での紹介を希望される方は「ながの結婚マッチングシステム NAGANO ai MACTH」への登録も受け付けている。

事業実績					
(1) 相談件数推移					
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
相談(件)	1,650	1,490	1,384	1,222	1,114
来所者(人)	389	515	463	411	353
男性登録者(人)	438	454	455	245	261
女性登録者(人)	150	179	170	99	101
お見合い(組)	42	49	41	46	33
(2) お見合い企画					
ア 婚活イベント 1回 男性8人 女性6人参加					
イ 友活イベント 1回 男性17人 女性13人参加					
(3) ながの結婚マッチングシステム NAGANO ai MATCH					
ア 登録者数 男性28人 女性7人(令和8年3月末日現在)					
イ 相談来所者数 25人					
評価・課題					
広報紙「社協うえだ」への掲載や、上田市や県の婚活支援センターへ協力依頼を行い、周知することができた。 また、イベントでポスター掲示をするなどしたことで社協のイベントを知ったという参加者もいた。今後も周知協力を依頼していきたい。 募集対象年齢を55歳まで広げ、「友だち作り(友活)から人生を豊かにしていく」というコンセプトでイベントの計画を立て、婚活よりも参加しやすいと盛況だった。 その他の事業所との交流会で事例発表を行い、友活イベントの結果に注目が集まった。交流会を貴重な意見交換の機会と捉え、今後の運営方法やイベント企画の参考にしていく。					

18 たすけあい資金貸付事業

たすけあい資金

【事業概要】

上田市社協独自の貸付である「たすけあい資金」については、要保護世帯又はこれに準ずる世帯に対し、応急的に貸し付ける制度で、貸付限度額は5万円まで、無利子である。

事業実績					
貸付状況の推移					
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
相談（件）	65	93	89	87	115
貸付（件）	40	42	27	27	24
貸付額（円）	1,828,000	1,522,460	1,094,300	1,054,821	721,922
評価・課題					
生活状況を丁寧に聴きとり、償還計画に無理がないよう貸付を行った。 また、滞納者へは、定期的に電話連絡や訪問を行った。 中・長期滞納者に夜間訪問を行ったが、会えないことが多く、不在連絡票を入れても連絡がないケースが目立った。 また、生活状況が苦しく償還につながらないケースが多かったため、今後は、償還開始時からの電話連絡に力を入れ、償還を促していく必要がある。					

生活福祉資金貸付事業(県社協受託事業)

【事業概要】

低所得世帯、障がい者世帯又は高齢者世帯に対し、資金の貸付けと必要な援助指導を行うことにより、その経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的に、次の貸付けを行っている。

事業実績					
生活福祉資金貸付状況の推移					
(1) 相談件数			(単位：件)		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
総合支援資金	1,091	156	99	75	80
福祉資金	67	426	398	226	129
教育支援資金	8	14	13	37	44
不動産担保型生活資金	4	8	6	12	15
合計	1,866	596	516	344	268
(2) 貸付件数			(単位：件)		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
総合支援資金	385	52	2	0	1
福祉資金	209	84	10	5	3
教育支援資金	4	1	0	6	3
不動産担保型生活資金	0	0	0	0	0
合計	598	137	12	11	7

(3) 貸付額					(単位：円)
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
総合支援資金	167,350,000	22,380,000	560,000	0	220,000
福祉資金	29,816,000	13,595,000	1,943,000	752,000	1,172,000
教育支援資金	2,211,000	358,000	0	4,092,000	2,792,000
不動産担保型生活資金	0	0	0	0	0
合計	199,377,000	36,333,000	2,503,000	4,844,000	4,184,000

評価・課題	
離職による生活困窮や、物価高騰の影響により、年金収入では生活費が不足するなどの相談のほか、生活保護が適切だと思われる場合は、同行支援など行った。生活再建のため“まいさぼ上田”の家計支援事業につながが、支援を希望される方が少ないことが課題となっている。 また、教育支援資金では、貸し付け後の総合的な資金計画まで十分に検討していない方が多く、いっしょに考える必要があった。外国籍の方の相談も多く、手続きの支援に時間を要することも多く、今後も丁寧に対応していく。	

19 特例貸付フォローアップ・相談支援体制強化事業（県社協補助事業）

【事業概要】

緊急小口資金等特例貸付の償還免除の承認を受けた方や、償還が困難な方など、特に支援が必要と考えられる借受人に対し、フォローアップ支援を行う。

事業実績		
(1) 相談状況（延べ人数）（単位：件）		
	令和6年度	令和7年度
電話相談	564	1,107
来所相談	115	307
訪問相談	433	73
合計	1,112	1,487
(2) 相談会、セミナー 出張相談会 1回 家計の見直しセミナー 1回		
評価・課題		
主に滞納者に電話や訪問を行い、生活状況の把握に努めた。生活状況を確認する中で課題を整理し、必要な支援につなげた。日中の電話や訪問しても不在の方については、夜間訪問を実施し、生活状況に応じて免除申請や猶予申請につなげた。滞納者や償還免除対象者等に、引き続きアプローチを行い、状況に応じた支援を行っていく必要がある。		

20 ボランティア地域活動センター事業

【事業概要】

地域住民のボランティア活動に関する理解と関心を深めることを目的に、活動に関する「相談」や「広報啓発」、「育成援助」と「活動のできる場」を提供し、必要な連絡調整を行う。

事業実績

- (1) 各種講座の開催
 ア ハンドマッサージボランティア養成講座 2回 延べ79人参加
 イ 傾聴ボランティア養成講座 2回 延べ47人参加
 ウ ボランティア育成事業「点字体験教室」3回 延べ9人参加
 エ 音訳ボランティア養成講座 2回 延べ42人参加
 オ 多文化共生ボランティア講座 2回 延べ20人参加
 カ 箸技ボランティア養成講座 12人参加
 キ セラピューティック・ケア体験講座 11人参加
- (2) 社会福祉普及校の指定
 小学校24校、中学校12校（依田窪南部中含む。）、高等学校6校、養護学校1校
 計43校
- (3) 出前福祉体験講座（高齢者疑似体験、車いす体験、アイマスク体験等）
 小学校6件、中学校8件、自治会1件、企業1件 延べ993人参加
- (4) 福祉体験プログラムの展開
 ア サマーチャレンジ・サマー体験ボランティア
 （ア）上田地区、丸子地区の児童、高齢者福祉施設でのボランティア活動 195人参加
 （イ）真田中学校の生徒を対象に「夏休み自由学習室」 42人参加
 イ スプリングチャレンジボランティア（対象 上田地区の中学生以上）
 上田地区の児童、高齢者施設でのボランティア活動、上田市街エリアのゴミ拾い、切手整理、雑巾縫い 105人参加
 ウ 丸子中央小学校「手話・点字クラブ」
 ブライユ丸子、丸子手話サークル手のひらの会が講師として点字、手話の指導を行う。
 4回 96人参加
- (5) 災害救援ボランティア
 ア 災害救援ボランティア登録者数 個人87人 団体27団体
 イ 災害救援ボランティアセンター立ち上げ訓練（市防災訓練と合同開催）140人参加
 ウ 能登半島地震被災地支援ボランティア活動 4回 延べ29人参加
- (6) 真田地域清掃ハイキング 1回 134人参加
- (7) 上田市ボランティア地域活動センター運営委員会の開催 4回
- (8) その他の活動支援
 ア ボランティア連絡協議会の活動支援、連携
 イ ひざ掛けの配布（東部、内村、丸子第一、丸子第二地区）162枚
 ウ 闘病生活を送るガン患者の方にタオルの帽子を提供 635枚
 エ 丸子珈琲倶楽部「珈琲サロンさざなみ」の開催
 オ 収集活動 切手整理ボランティア 延べ131人参加
 使用済み切手46.2kg、使用済みテレホンカード34枚、書き損じはがき233枚、
 外国硬貨14枚を3団体（日本キリスト教海外医療協力会、誕生日ありがとう運動本部、
 「世界の子どもにワクチンを」日本委員会）に送付

(9) ボランティアニーズ状況

（単位：件）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
施設	7	22	57	122	126
自治会	9	20	53	48	30
学校	11	6	8	12	4
団体	35	30	33	33	30
個人	59	58	98	66	55
合計	121	136	249	281	245

評価・課題
令和6年能登半島地震の被災地支援を、計4回実施し、45人のボランティアと社協職員が支援活動を行った。 また、2回目以降は中型バスを利用して、一度に多くのボランティアを送り出すことができた。 令和7年度は、上田市で上小ブロックボランティアフォーラムを開催し当日は、多くの団体・ボランティアとの交流や情報交換、学びを深めることができた。 今後も、センターに寄せられる相談やニーズに対応できるよう、団体や個人ボランティア、関係機関等と連携を深めていく必要がある。

2.1 地域子育て支援拠点事業【連携型、一般型】（市受託事業）

【事業概要】

地域における子育て支援拠点として、安心して子育て・子育てができることを目的に親どうしの出会いと交流の場、子どもたちが自由にかかわりあう場の提供を行う。子どもを遊ばせながら親どうしが交流し、情報交換ができる場所として、毎月親子で楽しめるさまざまな講座を企画している。

事業実績					
利用状況推移					
ア 大星子育てひろば					
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者（人）	1,239	1,311	2,148	2,781	2,531
開館（日）	153	153	153	153	148
1日平均利用者（人）	8.1	8.6	14.0	18.3	17.1
イ 神科子育てひろば					
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者（人）	1,184	1,431	2,338	1,912	1,483
開館（日）	153	153	153	154	153
1日平均利用者（人）	7.7	9.4	15.3	12.4	9.7
ウ 東塩田子育てひろば					
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者（人）	1,773	1,960	2,398	2,786	1,675
開館（日）	153	153	153	153	150
1日平均利用者（人）	11.6	12.8	15.7	18.2	11.2
エ 清明子育てひろば					
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者（人）	1,486	1,158	1,961	2,339	2,355
開館（日）	153	153	153	153	152
1日平均利用者（人）	9.7	7.6	12.8	15.3	15.5
評価・課題					
インターネットを利用して子育ての情報を検索する家庭もあるため、上田市ホームページにおいて、施設の様子が分かりやすくなるよう施設の写真を掲載した。 また、育児休業後、すぐに職場復帰する家庭が増えたことで、月齢が低い子どもがいる利用者の割合が増加傾向である。 今後、利用者のニーズに合った講座等を検討し、来館時にゆっくり過ごせるような環境や雰囲気づくりに努めていく必要がある。					

2 2 上田市高齢者福祉センター管理事業（指定管理事業）

上田市高齢者福祉センター

【事業概要】

高齢者の健康相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションなど憩いの目的に利用されている。

また、市の高齢者介護課が主催する介護予防体操や自主事業として行っている初級パソコン教室があり、大勢の方々に利用していただいている。

事業実績					
(1) 利用状況の推移					
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者（人）	31,905	28,410	43,865	42,673	42,490
開館日数（日）	194	259	291	286	290
1日平均利用者（人）	164.5	109.7	150.7	149.2	146.5
(2) 教養クラブ活動（19クラブ）参加者 15,291人					
(3) 高齢者初級パソコン教室（84回 累計 580人）					
(4) 第48回 高齢者文化祭（サントミューゼ）19クラブ参加					
評価・課題					
全体の利用者数は、令和6年度と比較してほぼ横ばいである。 しかし、利用者の高齢化が進み、見守りが必要な利用者が増加していることで、地域包括支援センターや上田市との連携が今まで以上に必要となってきた。 施設の環境衛生面では、レジオネラ属菌が発生したことを踏まえ、今まで以上に清掃や消毒の徹底に努める。 利用者が心地よく過ごしていただけるよう環境整備に努めているが、老朽化が年々進み修繕箇所や設備の不具合が増えているのが課題となっている。					

上田市高齢者学園事業（市受託事業）

【事業概要】

「仲間づくり、健康づくり、生きがいくくり」を行動指針に、3つの学習分野（より良い社会参加・健康と生きがいくくり・豊かな長寿社会の実現）を柱に、地域の中でも主体的に社会参加し、地域社会の発展に寄与することを目指して学習に取り組んでいる。

また、講義評価アンケートを実施するとともに、学生からのさまざまな要望や意見を取り入れ、学園生の自発的な学園運営に生かしている。

事業実績	
(1) 学生数	1年生 45人、2年生 39人、3年生 33人 計 117人
(2) 講義回数	1年生 14回、2年生 14回、3年生 13回
(3) 交流会	1年生 塩田龍光院座禅体験・ともしび博物館 2年生 諏訪大社 3年生 軽井沢（熊野皇大神社他）
(4) 1日研修	1年生 創造館 2年生 鉄の館・県立歴史館 3年生 直江津（上越水族館他）
(5) 研修旅行	1年生 箱根・小田原方面（一泊） 2年生 山梨方面・忍野八海（一泊） 3年生 福島県会津若松・大内宿方面（一泊）

(6) クラブ活動	年7回(7月～8月 3回、12月～1月 4回) (フラダンス、健康体力作り、詩吟、スポーツ吹き矢、書道、川柳 童謡唱歌・愛唱歌)計7クラブ 3学年合同クラブ発表会開催
(7) 運営委員会	2回
(8) その他	講義評価アンケートの実施
評価・課題	
学習内容については、3学年とも計画どおりに進めることができた。令和5年度以降は、入学希望者が増加し定員を上回る状況である。 学園生の増加に伴い講義の内容やクラブ活動等、学園生の趣味の多様化やニーズの変化に対応していくために、今後、学園生の意見を取り入れながら学習内容を検討していく必要がある。	

2 3 上田市丸子老人福祉センター設置管理事業（市補助事業）

【事業概要】

健康増進、教養文化の向上、各種レクリエーション、そして憩いの場として利用できる老人福祉施設である。

事業実績					
利用状況の推移					
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者(人)	9,096	6,683	12,109	12,094	12,606
開館日数(日)	203	306	305	298	303
1日平均利用者(人)	45.0	22.0	40.0	41.0	41.6
評価・課題					
利用者が安全に入浴できるよう見回りや声がけを行うなど注意を払った。 クラブ活動は、カラオケ機器の変更や会員の高齢化等で参加者が減少傾向にある。 施設は老朽化が進み、年々修繕箇所や設備の不具合が増えており、耐震化も未実施である。 暑さが厳しく、ロビーや集会室、脱衣所に冷房機器が設置されていないため、館内が高温になり温度管理に苦慮したため、環境改善に向けて上田市と調整検討していく必要がある。					

2 4 上田市真田老人福祉センター管理事業（指定管理事業）

【事業概要】

高齢者の健康相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションなど憩いの目的に利用されている。

事業実績					
利用状況の推移					
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者(人)	2,501	1,707	4,667	5,476	6,419
開館日数(日)	166	259	304	300	301
1日平均利用者数(人)	15.1	6.6	15.4	18.3	21.3

評価・課題
利用者数は前年度比 17 パーセント増となりコロナ禍前の 6 割強まで戻ったものの、引き続き利用者数減少傾向への対応が課題である。 建物本体の老朽化の進行が懸念されることから、施設環境が維持できるよう適正な管理に努めるとともに、点検、修理を行いながら安全・安心な利用環境が整うよう取り組む。 また、自主事業についても内容等を工夫しながら取り組んでいく必要がある。

2 5 真田ふれあいバス運行事業(市受託事業)

【事業概要】

真田老人福祉センターへの利便を図るため、定期的にふれあいバスを運行している。公共のバス路線では対応できない地域に密着した路線を中心に運行している。

運行内容：25 人乗りマイクロバス 真田地域内巡回（迎え 1 回・送り 2 回）

事業実績					
利用状況の推移					
	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
利用者（人）	2,302	1,521	2,224	2,639	1,605
運行日数（日）	187	190	189	189	189
1 日平均利用者数（人）	12.3	8.0	11.8	14.0	8.5
評価・課題					
バスの利用者数は例年老人福祉センター利用者数の増減に連動するが、施設利用者約1,000 人増加に対し、乗車数は約1,000人減少した。バスの利用者が減少する一方で自家用車による来館者が増加しており、ふれあいバス運行のあり方を検討していく必要がある。					

2 6 上田市ふれあい福祉センター管理事業(指定管理事業)

【事業概要】

障がい者及び高齢者の社会参加の支援、市民のボランティア活動への参加を積極的に促進するとともに、市民と高齢者、ボランティアの交流を推進することを目的に、福祉の拠点として多くの方が利用されている。

事業実績					
利用状況推移					
	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
利用者（人）	10,342	11,517	20,005	20,505	21,402
開館日数(日)	240	349	358	360	357
1 日平均利用者(人)	43.1	33.0	55.9	57.0	59.9
評価・課題					
施設利用者数及び利用団体数が増加した。 施設の環境整備面では、利用者が安全で安心して施設が利用できるように努めた。適正な管理に努め、安全で安心して施設利用できるよう点検や修理を行い、必要な修繕等に関しては、上田市と調整検討していく必要がある。					

27 上田市真田総合福祉センター管理事業(指定管理事業)

【事業概要】

障がい者及び高齢者の社会参加を支援するとともに、市民のボランティア活動への参加を積極的に推進することを目的とし、地域の多くの方に利用していただける施設である。

事業実績					
利用状況推移					
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者（人）	3,134	3,440	8,370	11,900	10,114
開館日数(日)	277	314	360	360	360
1日平均利用者(人)	11.3	11.0	23.3	33.1	28.1
評価・課題					
自主事業については、本年度も新たな内容を加え、現状で行える規模の中で工夫をしながら取り組んだ。 昼夜を問わず幅広い年齢層に利用されているが、利用者は減少している。 老朽箇所については、できる限り修繕等を行っているものの、講堂は未だ雨漏りが続いており躯体への影響が懸念される。 適正な管理に努め、安全で安心して施設利用できるよう点検や修理を行い、必要な修繕等に関しては、上田市と調整検討していく必要がある。					

28 上市長瀬市民センター管理事業(指定管理事業)

【事業概要】

市民の福祉の増進に寄与することを目的として、会場の貸出し等の管理運営を行い、市民に広く利用されている。

事業実績					
利用状況推移					
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者（人）	8,795	7,456	7,737	8,366	9,885
開館日数(日)	211	267	306	308	308
1日平均利用者(人)	41.6	27.9	25.2	27.1	32.1
評価・課題					
施設利用者数及び利用団体数が、前年度比約1.1倍に増加した。 施設の環境整備面では、建物の老朽化から修繕費が年々増加傾向である。利用者が安全で安心して施設が利用できるよう、必要な修繕に関して上田市と調整検討していく必要がある。					

29 共同募金配分金事業



【事業概要】

毎年10月1日から各都道府県共同募金会が主体となって、全国一斉に展開されている共同募金運動に、上田市社協も積極的に協力している。共同募金にお寄せいただいた善意は、社協事業や民間社会福祉施設、団体等に配分され、貴重な活動財源になっており、地域福祉の向上に役立てられている。

事業実績					
実績推移	(単位：円)				
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
戸別募金	23,165,536	21,384,000	20,802,758	20,303,375	19,346,401
法人募金	1,576,083	1,556,815	1,421,802	1,446,317	1,469,836
街頭募金	767,137	596,122	570,669	619,013	652,997
学校募金	322,144	274,138	282,117	280,792	198,968
職域募金	194,754	179,700	188,057	193,385	191,394
その他の募金	128,075	113,022	154,242	134,048	145,141
合計	26,153,729	24,103,797	23,419,645	22,976,930	22,004,737

上田地区共同募金配分事業

事業実績					
実績推移	(単位：円)				
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
戸別募金	16,346,958	15,097,423	15,002,147	14,635,505	14,154,780
法人募金	1,238,135	1,203,108	1,092,133	1,093,717	1,056,500
街頭募金	609,883	481,414	488,306	523,427	557,163
学校募金	256,128	235,347	214,332	211,203	141,774
職域募金	134,797	132,249	124,107	123,745	127,588
その他の募金	127,566	102,204	112,490	134,048	100,267
合計	18,713,467	17,251,745	17,033,515	16,721,645	16,138,072

丸子地区共同募金配分事業

事業実績					
実績推移	(単位：円)				
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
戸別募金	3,997,380	3,583,060	3,350,803	3,241,641	2,964,746
法人募金	273,948	269,707	266,669	224,600	258,336
街頭募金	130,016	69,034	32,755	43,310	44,053
学校募金	35,591	19,914	46,993	42,424	30,131
職域募金	29,582	22,831	26,695	22,534	23,062
その他の募金	509	10,818	41,752	0	44,874
合計	4,467,026	4,467,026	3,765,667	3,574,509	3,365,202

真田地区共同募金配分事業

事業実績					
実績推移	(単位：円)				
	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
戸別募金	1,864,186	1,749,629	1,541,195	1,556,769	1,387,767
法人募金	54,000	74,000	53,000	118,000	100,000
街頭募金	16,123	25,659	18,289	40,849	28,577
学校募金	26,530	17,624	20,110	20,583	23,265
職域募金	21,397	14,258	17,715	27,897	31,854
その他の募金	0	0	0	0	0
合計	1,982,236	1,881,170	1,650,309	1,764,098	1,571,463

武石地区共同募金配分事業

事業実績					
実績推移	(単位：円)				
	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
戸別募金	957,012	953,888	908,613	869,460	839,108
法人募金	10,000	10,000	10,000	10,000	55,000
街頭募金	11,115	20,015	31,319	11,427	23,204
学校募金	3,895	1,253	682	6,582	3,798
職域募金	8,978	10,362	19,540	19,209	8,890
その他の募金	0	0	0	0	0
合計	991,000	995,518	970,154	916,678	930,000

評価・課題
ここ数年の募金実績を考慮し、配分計画や目標額を立て共同募金運動を実施した。令和 7 年度も自治会役員の皆様をはじめ、多くの住民の方々に御協力をいただいた。 募金実績としては、目標額を上回ることができたものの、戸別募金については、令和 6 年度に比べ実績額が減少した。 引き続き、赤い羽根共同募金の使用用途を広く周知していく必要がある。 また、広く住民に還元できるような事業を実施し、地域福祉の推進に努めていくことで、住民の方々に御協力いただけるよう働きかけたい。

共募高齢者

共同募金配分金事業



事業実績
(1) 上田地区 サロン支援事業 ア ダンス教室 2回 参加者 延べ52人 イ 身体ぽかぽか体操教室 4回 参加者 延べ69人 (自宅でできるストレッチ、バレトンソールシンセシス、バランスボール、ヨガ) (2) 真田地区 ア 一人暮らし高齢者親睦会 3回 参加者 延べ72人 (3) 武石地区 ア 独居高齢者(75歳以上)への配食事業 1回 103食 イ お茶オケサロン 71回、健康マージャン 94回

評価・課題	
(1) 上田地区	サロン支援事業については、地域のサロン活動の参考となるよう、さまざまな内容の教室を年6回開催した。 ダンス教室については、上田千曲高等学校の生徒を講師に招き、高校生の活躍の機会を提供するとともに、世代間交流の場ともなった。参加者から、健康増進に役立つ教室の開催の希望があるため、令和8年度以降も継続していきたい。
(2) 真田地区	親睦会では、おはぎづくりや楽器演奏に合わせて歌を歌ったり、筒けん体験などを実施した。 ふれあいの旅では、季節を感じる行程や食事を楽しめるバス旅行を実施した。参加者からは毎回好評をいただいているが、今後も継続できるよう、財源の確保や参加しやすい企画を検討していく。
(3) 武石地区	ア 民生委員・児童委員の協力を得て、年末に希望者へ手作り弁当の配布を行った。年の瀬でもあり、真心のこもった弁当は、大変好評であった。物価高騰の中、今後も事業を継続していくための事業費確保が課題である。 イ お茶オケサロン、健康マージャンは、閉じこもり予防や交流を図る上で効果的な事業であり、シニアクラブ会員を中心に週2回の活動を継続していきたい。

共募児童・青少年

共同募金配分金事業



事業実績			
子育て中の親を対象に、交流の場づくりとリフレッシュ、子育てに関わる学習会を目的とした事業			
(1) K I D' S ロディオガ®教室	1回	参加者	3組
(2) 体操くらぶ	6回	参加者	延べ71人
(3) ママのためのリンパケア	1回	参加者	13人
(4) 親子ピラティス	2回	参加者	22組
(5) マジックバルーンアート教室	1回	参加者	6人
(6) えほんの森&ふくふくひろば	1回	参加者	15組
(7) バレエエクササイズ	2回	参加者	20人
(8) クリスマスリース教室	1回	参加者	9人
(9) ママカフェ（講座と同時開催含む）	11回	参加者	6組
評価・課題			
体操くらぶは、“まいさぼ上田”と協力し、年間を通じた企画を開催した。 また、子育て支援事業は、主に未就学児から小学生の保護者を対象とした講座等を企画・実施した。各種講座は、定着しつつあり、参加者も増えている。 今後も、子育て中の保護者の居場所づくりや、赤い羽根共同募金の事業であることを周知しつつ、講座を企画し開催していきたい。			

共募住民全般

共同募金配分金事業



事業実績	
(1) 上田地区	ア 赤い羽根コットン®smile 応援（尿取りパッド・生理用品贈呈）事業 民生委員・児童委員を通じた尿取りパッドの贈呈 上田地区 16地区 対象者 718人 高等学校への生理用品の贈呈 6校 1,062パック
(2) 真田地区	ア 真田地域清掃ハイキング 1回 参加者 134人

評価・課題

(1) 上田地区

赤い羽根コットン®smile 応援事業の尿取りパッド贈呈については、在宅で尿取りパッドを必要とされている方を対象に、民生委員・児童委員を通じてパッドをお渡しすることで、地域でのつながりづくりや対象者の在宅生活の一助となった。

生理用品の贈呈については、希望する高等学校が令和 6 年度より 1 校増えた。6 校にお届けする生理用品の仕分けを高校生といっしょに行い、学校内でも生徒自身が補充をすることで、「生理の貧困」への取組について知っていただくことができた。

また、高校生対象のアンケート調査の結果から生理用品が「トイレに置いてあると助かる」等の回答が大多数であったことから、今後も、引き続き生理用品の設置に取り組んでいきたい。

(2) 真田地区

ボランティア団体を始め、学校、企業と幅広く参加者が集まり、清掃活動を通して地域住民の良い交流の場となっている。令和 7 年度は、他の地域のイベントや学校行事と重なったが、幅広い地域、年代の方々の参加があり、盛大に行われた。

団体事業の育成

共同募金配分金事業



【事業概要】

各種福祉事業を推進するため、協力費として活動費を助成し、団体育成に努めている。

事業実績

(1) 上田地区 活動費助成団体

(単位：円)

団体名	助成金額	団体名	助成金額
上田地域福寿クラブ連合会	200,000	上田市聴覚障害者協会	56,000
NPO 法人上田市身体障害者福祉協会	200,000	うえだ市民ふれあい広場実行委員会	138,000
上田市赤十字奉仕団	95,000	上田地区保護司会	108,000
上田ボランティア連絡協議会	34,000	上小手話サークル	71,000
上田地区更生保護女性会上田支部	50,000	上小東御生活と健康を守る会	200,000
モチーフの会	67,000	チャイルドラインうえだ運営委員会	150,000
上田市子ども会育成連絡協議会	68,000	豊殿デマンド交通委員会	170,000
上田市視覚障がい者福祉協会	75,000	豊殿ふれあいサロン運営委員会	200,000
上田市肢体不自由児者父母の会	29,000	〇〇カフェやすらぎ	29,000
		合計 18 団体	1,940,000

(2) 丸子地区 活動費助成団体

(単位：円)

団体名	助成金額	団体名	助成金額
丸子地域シニアクラブ	120,000	上田市食生活改善推進協議会丸子ブロック	28,000
上田市丸子地区赤十字奉仕団	30,000	E-キャップの会	100,000
丸子ボランティア連絡協議会	90,000	傾聴ボランティア・まるこ	50,000
上田地区更生保護女性会丸子支部	40,000	合計 7 団体	458,000

(3) 真田地区 活動費助成団体

(単位：円)

団体名	助成金額	団体名	助成金額
真田地域シニアクラブ	30,000	グリュックの会	20,000
上田市真田地区赤十字奉仕団	30,000	さなだ支え合い会議	20,000
真田地域ボランティア連絡協議会	70,000	大福会	20,000
上田市真田地域食生活改善推進協議会真田ブロック	30,000	ふれあい広場実行委員会	70,000
おとぎの会	22,000	ミミールの会	10,000
おもちゃ図書館くるくるさなだ	30,000	合計 11 団体	352,000

(4) 武石地区 活動費助成団体		(単位：円)	
団体名	助成金額	団体名	助成金額
武石シニアクラブ	40,000	武石えん結びの会	20,000
武石身体障害者福祉協会	15,000	武石地区社会福祉協議会	119,678
武石ボランティア連絡協議会	15,000	武石もみじ会	30,000
上田地区更生保護女性会武石支部	10,000	ふれあいカフェ武石	13,000
		合計 8 団体	262,678

(5) 上田市全域 活動費助成団体		(単位：円)	
団体名	助成金額	団体名	助成金額
上田市自治会連合会	211,000	上田市民生委員・児童委員協議会	333,000
		合計 2 団体	544,000

30 地域包括支援センター事業(市受託事業)

【事業概要】

専門職の看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員が配置され、地域の高齢者を中心に全ての地域住民が、住み慣れた地域で安心して生活を送るための地域包括ケアシステム構築を推進し、地域福祉の拠点となるよう事業を実施している。

神川地域包括支援センター事業

事業実績					
(1) 相談件数の推移		(単位：件)			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
総合的な相談・支援	1,404	1,203	1,963	1,670	1,893
権利擁護	681	645	496	1,318	749
介護予防ケアマネジメント	2,148	3,000	3,862	3,552	3,769
包括的・継続的ケアマネジメント	567	845	1,351	1,036	788

(2) 事業内容の推移		(単位：件)			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
夜間緊急相談	148	200	243	269	195
介護予防活動	17	103	156	185	186
会議・研修等	116	121	139	167	167
医療・関係機関との連携	411	401	633	184	108
介護支援専門員に対する支援	3	24	35	42	46
実態把握	86	99	112	122	178
介護予防プラン作成	1	2	4	3	2
介護予防支援・介護予防ケアマネジメント支援計画	2,673	2,648	2,796	2,800	2,675

(3) その他	
ア	総合相談業務（夜間、休日等は、携帯電話にて24時間緊急対応体制）
イ	地域ケア会議の開催（6回）
ウ	認知症サポーター養成講座（1回）
エ	地域リハビリテーション活動支援事業への参加及び活動支援（15か所）

オ 地域サロン等での介護予防体操や講話（19回） カ 生活支援体制整備事業における第2層協議体、地域資源の把握等 キ 福祉教育の推進（看護学生等の実習受入れ） ク 包括だより発行（4回）
評価・課題
(1) 総合相談業務においては、上田市などの関係機関と連携を図りながら適切な対応ができるよう取り組んだ。地域や医療機関からの新規相談は年々増加しているが、早期訪問、早期対応を心がけた。 (2) 高齢者世帯・おひとり暮らし台帳に基づいた実態把握訪問は令和6年度より増加した。支援を必要とする住民の早期発見、地域課題の把握が行えるよう、努めていく。 (3) 長期的、継続的に支援が必要な困難ケースが増えている。上田市や社協内の事業担当者とも連携を強めて対応していく。 (4) 地域包括ケアシステム推進、生活支援体制整備事業の充実を図るため、地域住民や上田市、警察、医療機関、居宅介護支援事業所等と積極的な関わりを持ち、住民のニーズ、地域資源の把握に取り組んでいく。 (5) 令和8年1月から染屋自治会が新たに担当地域となった。地域との関係構築に力を入れていく。

丸子地域包括支援センター事業

事業実績					
(1) 相談件数の推移	(単位：件)				
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
総合的な相談・支援	1,796	2,525	2,962	3,558	3,061
権利擁護	254	750	783	954	811
介護予防ケアマネジメント	4,832	3,616	3,437	3,910	4,466
包括的・継続的ケアマネジメント	726	850	654	1,367	1,122
(2) 事業内容の推移	(単位：件)				
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
夜間緊急相談	166	142	148	149	138
介護予防活動	29	20	69	67	35
会議・研修等	177	430	556	418	429
医療・関係機関との連携	292	633	763	659	608
介護支援専門員に対する支援	23	26	25	37	20
実態把握	94	110	110	96	95
介護予防プラン作成	10	17	11	2	1
介護予防支援・介護予防ケアマネジメント支援計画	2,856	2,923	2,913	3,035	2,963
(3) その他					
ア 総合相談業務（夜間、休日等は、携帯電話にて24時間緊急対応体制）					
イ 地域ケア会議の開催（4回）					
ウ 認知症サポーター養成講座（3回）					
エ 地域リハビリテーション活動支援事業への参加及び活動支援（36か所）					
オ 地域サロン等での介護予防体操や講話（9回）					
カ 生活支援体制整備事業における第2層協議体、地域資源の把握等					
キ 福祉教育の推進（看護学生等の実習受入れ）					
ク 包括だより発行					

評価・課題	
(1)	さまざまな生活課題を抱えた相談が増加しており、民生委員・児童委員など地域の関係者をはじめ、上田市や医療機関、警察、居宅介護支援事業所など関係機関との連携を図りながら迅速かつ適切な相談支援に努めた。
(2)	地域ケア推進会議では、高齢者の身寄り問題についての勉強会を実施し、法制度や支援方法について参加者と共有を図った。今後、上田市をはじめ、福祉関係者等への働きかけも含め地域の実態把握を進めていく必要がある。
(3)	個別支援と地域支援を同時に担う地域包括支援センターの役割がますます増大する中、日々の実践やさまざまな課題を生かしながら、個別のニーズや地域の実情に応じた地域包括ケアシステムの構築を進めていく必要がある。

真田地域包括支援センター事業

事業実績					
(1) 相談件数の推移			(単位：件)		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
総合的な相談・支援	1,406	2,405	1,848	2,003	1,730
権利擁護	209	419	208	235	434
介護予防ケアマネジメント	2,599	2,094	1,982	1,931	1,385
包括的・継続的ケアマネジメント	526	529	655	839	940
(2) 事業内容の推移			(単位：件)		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
夜間緊急相談	94	115	69	88	120
介護予防活動	59	83	147	170	196
会議・研修等	301	460	485	496	347
医療・関係機関との連携	475	369	404	546	537
介護支援専門員に対する支援	20	164	157	179	248
実態把握	72	66	79	83	81
介護予防プラン作成	11	7	9	3	1
介護予防支援・介護予防ケアマネジメント支援計画	1,997	1,868	1,926	1,961	2,013
(3) その他					
ア 総合相談業務（夜間、休日等は、携帯電話にて24時間緊急対応体制）					
イ 地域ケア会議の開催（8回）					
ウ 認知症サポーター養成講座（2回）					
エ 地域リハビリテーション活動支援事業への参加及び活動支援（17か所）					
オ 地域サロン等での介護予防体操や講話（6回）					
カ 生活支援体制整備事業における第2層協議体、地域資源の把握等					
キ 包括だより発行					
ク 真田地域包括独自事業の開催					
評価・課題					
(1) 高齢者に対する地域の総合相談窓口として、迅速な対応に心がけた。支援困難ケースに該当する相談が増えており3職種及び上田市や医療機関、警察、居宅介護支援事業所等各関係機関との連携を心がけた。今後も関係機関と連携を図りながら対応していく。					
(2) 高齢者世帯・おひとり暮らし台帳に基づいた実態把握訪問の実施を心がけた。今後も支援を必要としている人の早期発見、地域課題の把握に努めたい。					
(3) 真田地域包括独自事業として、介護支援事業所への情報発信や、男性の独居や介護者が増えている現状から介護予防、自立支援に向けた講座などを開催した。					

- (4) 地域包括ケアシステム推進、生活支援体制整備事業の充実を図るため、関係機関や地域住民と積極的な関わりを持ち、住民のニーズや地域資源の把握をするとともに新たな活動へつながるよう支援していく。

武石地域包括支援センター事業

事業実績					
(1) 相談件数の推移			(単位：件)		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
総合的な相談・支援	1,080	1,165	1,103	951	998
権利擁護	35	82	25	20	57
介護予防ケアマネジメント	2,017	1,793	1,320	1522	1255
包括的・継続的ケアマネジメント	279	316	452	238	272
(2) 事業内容の推移			(単位：件)		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
夜間緊急相談	26	26	15	24	13
介護予防活動	39	70	77	40	71
会議・研修等	65	156	78	73	61
医療・関係機関との連携	22	80	135	77	58
介護支援専門員に対する支援	7	10	7	11	7
実態把握	60	99	172	173	73
介護予防プラン作成	11	6	7	5	0
介護予防支援・介護予防ケアマネジメント支援計画	1,934	1,832	1,805	1,688	1,699
(3) その他					
ア 総合相談業務（夜間、休日等は、携帯電話にて24時間緊急対応体制）					
イ 地域ケア会議の開催（3回）					
ウ 認知症サポーター養成講座（2回）					
エ 地域リハビリテーション活動支援事業への参加及び活動支援（25か所）					
オ 地域サロン等での介護予防体操や講話（4か所）					
カ 生活支援体制整備事業における第2層協議体、地域資源の把握等					
キ 福祉教育の推進（看護学生等の実習受入れ）					
ク 包括だより発行					
ケ 地域の高齢者の交流や活動の場「楽しい会〜!!」の開催（6回）					
評価・課題					
(1) 総合相談事業では、相談者からの相談に対し、迅速な対応と丁寧なアセスメントに心がけ取組を行った。					
また、上田市や警察、医療機関、居宅介護支援事業所等との連携を図りながら支援を行うことができたため、今後も、困難事例は、関係機関と連携していく。					
(2) 生活支援体制整備事業においては、「地域支え合いづくり懇談会」を2自治会で開催し、地域の支え合いの推進について考える場を設けた。今後も、未開催自治会への開催に向けた働きかけを行っていく必要がある。					
(3) 介護予防事業では、地域リハビリテーションを3か所増やすことができた。					
また、地域のサロンからの依頼により、レクリエーションや体操の講師に出向くなど4自治会の介護予防活動の支援を行った。					
(4) 高齢者の生きがい・健康づくり支援対策として、地域の高齢者の交流や活動の場「楽しい会〜!!」を上田市及び地域のボランティアの方々と協力して開催した。					
令和8年度は、上田市と地域のボランティアの方々との連携を更に強化することで、より充実した介護予防活動の場を提供できるように努めたい。					

3 1 通所介護事業

【事業概要】

デイサービスセンターでは、介護支援が必要な方等が、できる限り在宅で自立した日常生活が送れるよう、社会的孤立感の解消や心身機能の維持向上を図るお手伝いをしている。

また、その家族の身体的、精神的な負担を軽減できるようなサービスを提供している。

中央デイサービスセンター事業

事業実績					
(1) 利用者推移	(単位：人)				
	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
利用者	5, 175	4, 751	5, 004	4, 846	4, 675
1 日平均利用者	17. 0	15. 9	16. 1	15. 8	15. 1
関わったボランティア	41	0	29	25	28
(2) 主な行事					
お花見など季節に応じた外出行事を行った。その他、施設内では夏祭りをはじめとする各種行事を行った。					
評価・課題					
利用者に快適で安心した気持ちで過ごしていただけるように、相手に寄り添い、会話の傾聴やコミュニケーションを多くもつよう心がけ業務に取り組んだ。					
居宅サービス計画書から利用者や家族が求めていることを考え、個々のニーズに合ったケアを実施し、満足度の向上につながった。					
また、月 2 回の体操ボランティアの協力や、新たなレクリエーションを企画し、身体を動かす機会を増やして楽しんでもらった。					
定期的な職員会議を行ったが、職員全体での情報共有やケアの統一が不十分なところがあったため、正確かつ迅速に共有できる体制の強化が課題である。その上で、個々の利用者への対応を充実できるように職員全体で改めて介護の基本を見直し、質の良いサービスの提供に努めていく。					
利用者増加につながるよう営業努力を行っていく必要がある。					

神川デイサービスセンター事業

事業実績					
(1) 利用者推移	(単位：人)				
	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
利用者	4, 480	5, 164	5, 817	6, 634	5, 463
1 日平均利用者	14. 4	16. 6	16. 8	21. 7	17. 7
関わったボランティア	47	20	164	125	91
(2) 主な行事					
お花見など季節に応じた外出行事を行った。その他、施設内では夏祭りをはじめとする各種行事を行った。					
評価・課題					
利用者が快適かつ安心した気持ちで過ごしてもらえるように、傾聴やコミュニケーションを多く取ること、常に笑顔で接するよう意識しながら業務に取り組んだ。					
居宅サービス計画書に基づき、利用者個々のニーズを把握し、それぞれに合ったケアができるように配慮してサービスに努めた。					
また、利用者が自然と身体が動かせるように、介護度に関わらず誰でもできるような体操を取り入れた。					

今後の課題として、職員間での情報共有やケアの統一に不十分なところがあったため、定期的に職員会を開催し、情報共有・意見交換を行いながら、併せて職員のスキルアップが図れるように努めていく。

利用者増加につながるよう営業努力を行っていく必要がある。

3 2 居宅介護支援事業

【事業概要】

介護保険に関わる各種申請の代行や、介護サービスを利用する際に相談窓口となる事業所である。利用される方や御家族が居宅において、安全・安心に生活ができるよう居宅サービス計画(ケアプラン)を作成し、適切なサービスが受けられるように、提供事業者と連絡・調整している。

介護相談センター事業

事業実績					
事業実績					
	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
利用者 (人)	1,965.5	1,470.5	1,121	1,064	1,084
ケアプラン作成(件)	1,818.5	1,356.0	1,051	966	1,054
介護予防支援 (件)	37	74	68	61	57
認定調査 (件)	31	14	9	7	0
評価・課題					
医療機関や各包括支援センターへの声がけを行ってきたことで、利用者数は増えたが、毎月の給付管理の目標である件数には達せず、収支状況の改善にはつながらなかった。 個々の利用者の状況についてはミーティングや事例検討等により、所内での情報共有を行い、担当者が不在の場合でも対応できるよう努めた。 BCP（業務継続計画）、高齢者虐待、感染症予防の訓練、研修等を予定どおりに実施した。集合研修やオンラインでの研修に参加し、職員のスキルアップを目指した。 今後の課題として、利用者数の増加を目指して営業努力を行っていく必要がある。					

神川介護相談センター事業

事業実績					
事業実績					
	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
利用者 (人)	1,110	1,235	1,237	1,151	1,023
ケアプラン作成(件)	1,046	1,175	1,160	1,055	995
介護予防支援 (件)	44	47	47	54	86
認定調査 (件)	15	10	0	0	0
評価・課題					
各地域包括支援センターへの声がけや、継続的に医療連携を図ってきた成果として新規相談を受ける機会を持つことができた。 しかし、入院・入所・死亡による利用者減もあり、令和 6 年度に対して、利用者件数が減となった。 支援困難ケースが増えたため、所内事例検討会を通じて職員間で情報共有を図った。 また、地域包括支援センターや上田市等の関係機関と連携を図りながら対応した。 職員の接遇に対する利用者アンケートでは、アンケートに回答いただいた全ての利用者から良い評価をいただくことができた。 4 月からの統合にあわせ、利用者が困らないよう、引継ぎを行った。					

丸子介護相談センター事業

事業実績					
事業実績					
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者（人）	1,261	1,313	1,064	1,099	1,053
ケアプラン作成（件）	1,176	1,135	986	982	940
介護予防支援（件）	32	44	49	44	57
認定調査（件）	12	12	6	3	0
評価・課題					
8月から職員体制が整わず、担当利用者を他事業所に依頼せざるを得ないケースがあった。そのため、下半期からは令和7年度目標に掲げた月96件を下回る結果となった。 医療や多職種との情報の共有については、丁寧に取り組み、利用者及びその家族、その他関係機関と密に連携を取ることで、寄り添った支援を行うことができた。					

3.3 児童館・児童センター事業(指定管理事業)

【事業概要】

地域の児童に健全な遊びの場を提供し、健康で心身豊かな児童の育成を図ることを目的としている。地域の交流の拠点として地域、ボランティア等の方々に支えられ運営を行っている。

各館では、充実した遊びや運動が楽しめるよう、年間を通してさまざまな取組をしている。

また、保護者が就労等で留守家庭となる場合は、小学校から直接来館して利用ができる。

事業実績					
(1) 利用状況推移					
ア 朝日が丘児童館					
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者（人）	7,069	5,817	6,735	5,440	7,820
開館（日）	287	283	287	287	286
1日平均利用者（人）	24.6	20.6	23.5	19.0	27.3
イ 緑が丘児童館					
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者（人）	4,228	2,755	3,204	3,005	2,373
開館（日）	282	286	287	287	286
1日平均利用者（人）	15.0	9.6	11.2	10.5	8.3
ウ 川辺町児童センター					
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者（人）	19,218	19,123	21,630	20,481	16,207
開館（日）	287	287	287	287	286
1日平均利用者（人）	67.0	66.6	75.4	71.4	56.7
エ 秋和児童センター					
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者（人）	3,496	1,241	1,633	3,619	2,792
開館（日）	287	287	287	287	286
1日平均利用者（人）	12.2	4.3	5.7	12.6	9.8

オ 東塩田児童センター

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
利用者（人）	7,249	5,771	8,362	8,892	9,250
開館（日）	287	287	287	287	286
1 日平均利用者(人)	25.3	20.1	29.1	31.0	32.3

カ 大星児童センター

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
利用者（人）	17,697	19,280	21,344	18,830	17,860
開館（日）	287	287	287	287	286
1 日平均利用者(人)	61.7	67.2	74.4	65.6	62.4

キ 神科児童センター

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
利用者（人）	24,261	20,498	21,740	29,696	30,956
開館（日）	287	287	287	287	286
1 日平均利用者(人)	84.5	71.4	75.7	103.5	108.2

ク 神川児童センター

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
利用者（人）	8,522	10,718	11,844	10,758	13,045
開館（日）	287	282	287	287	286
1 日平均利用者(人)	29.7	38.0	41.3	37.5	45.6

ケ 下丸子児童館

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
利用者（人）	651	171	256	379	240
開館（日）	169	85	237	238	237
1 日平均利用者(人)	3.9	2.0	1.1	1.6	0.9

コ 児童館・児童センター（9 館）

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
利用者（人）	92,391	85,374	96,748	101,100	100,543
開館（日）	2,460	2,371	2,533	2,534	2,525
1 日平均利用者(人)	37.6	36.0	38.2	39.9	39.8

(2) 地区懇談会 8 児童館・児童センター（下丸子児童館を除く。） 延べ 114 人参加

(3) その他 児童館だよりを発行し小学校に配布した。

評価・課題

暑さ対策として、川辺・大星・神科児童センターの 3 施設に「スポットクーラー」がレンタルで設置された。効果は十分とはいえないが、冷風を浴びつつ遊戯室で遊ぶことができた。夏休みの長期間、大人数の児童に限られた空間で過ごす環境が少しでも改善されていくよう、今後も上田市へ要望していく。

特性のある児童に対し、個別の専門的な対応が必要となっている。児童の理解につながるよう小学校、上田市との情報共有が重要であり、密な連携を求めている。

土曜日の利用者が少ない状況から、令和 8 年度の土曜日開館は右岸 1 か所、左岸 1 か所の 2 か所を残し、他のセンターを閉館することとなった。

職員の欠員がある施設が複数あり、人員確保が課題となっている。

3 4 その他の事業

団体事務局

(1) 上田地区センター

ア 上田市高齢者クラブ連合会

4 地域（上田、丸子、真田、武石）の活動の交流や長野県シニアクラブ連合会の事業への参加等を行っている。

(ア) 高齢者クラブ数 67単位クラブ 会員2,932人

(イ) 長野県シニアクラブ連合会等主催行事への参加 延べ63人参加

(ウ) 第18回マレットゴルフ大会 84人参加

(エ) 正副会長会

(オ) 理事会

イ 上田地域福寿クラブ連合会

健康長寿、フレイル予防、引きこもり防止のため各種シルバースポーツの推進、生きがいと健康づくりの推進の維持、継続を行う。

(ア) 高齢者クラブ数 30単位クラブ 会員1,495人

(イ) 会議、行事等

a 理事会、代議員会、正副会長会

b 各部会会議

c 第41回福寿クラブ連合会定期大会

d 県シニア連 東信地区ブロック研修会 22人参加

e 福寿クラブ指導者（単位クラブ会長）研修会

f 県シニア連 東信地区女性指導者研修会 23人参加

g 長野県シニアクラブ大会 18人参加

h 人権啓発担当者研修会 9人参加

i 「うえだ福寿だより」発行 2回

j 福寿連グラウンド・ゴルフ大会 51人参加

k スマイルボウリング大会 121人参加

l ファミリーゲートボール大会 3チーム参加

m 福寿連ゲートボール大会 6チーム参加

n 県シニア連 マレットゴルフ大会 8人参加

o 福寿連マレットゴルフ大会 66人参加

p 男性料理教室 104人参加

q シルバースポーツ教室 141人参加

r ファミリースマイルボウリング大会 140人参加

s 寝たきり会員訪問活動 紙おむつ配布 46人

(ウ) 通年事業

a 金婚祝賀事業 6組

お茶飲みサロン設置事業 18クラブ

新規加入会員募集 63人加入

b パソコン教室 前期、後期2回開催 延べ74人参加

ウ 上田市遺族会

- (ア) 役員総会 23 人
- (イ) 外部研修（善光寺（日本忠霊殿参拝）、新潟県方面 10 人
- (ウ) 全国戦没者追悼式 2 人
- (エ) 第 73 回長野県戦没者遺族大会 16 人
- (オ) 令和 7 年度長野県戦没者追悼式 16 人
- (カ) 令和 68 回上田市戦没者遺族大会 61 人

(2) 丸子地区センター

ア 丸子地域シニアクラブ

- (ア) 高齢者クラブ数 24 単位クラブ 886 人
- (イ) 会議、行事等
 - a 理事会、総会等 6 回 62 人参加
 - b いきいきフェスティバル（シルバー作品展） 出展作品数 186 点
 - c シルバースポーツ大会（3 種目） 99 人参加
 - d 女性部研修会等 1 回 27 人参加
 - e 役員研修 15 人参加
 - f 冬季スポーツ交流会 3 回 87 人参加
 - g 県シニアクラブ連合会東信地区ブロック研修 2 回 8 人参加
 - h 県シニアクラブ連合会長野県大会 5 人参加
 - i 上田市高齢者クラブ連合会理事会・正副会長会 2 回 5 人参加
 - j 上田市高齢者クラブ連合会マレットゴルフ大会 6 人参加

イ 上田市丸子地区赤十字奉仕団

- (ア) 令和 7 年度総会 36 人参加
- (イ) 救急法講習会 2 回 35 人参加
- (ウ) 上田市防災訓練 20 人参加
- (エ) 飯沼自治会防災訓練 5 人参加
- (オ) 上田市塩川小学校避難訓練 3 人参加
- (カ) 丸子地域消費生活展 4 人参加
- (キ) 丸子女性団体連絡協議会学習会 4 人参加

ウ 上田地区更生保護女性会丸子支部

- (ア) 令和 7 年度総会 46 人参加
- (イ) 社会を明るくする運動上田大会 5 人参加
- (ウ) 子育てサロンボランティア 16 回 20 人参加
- (エ) 長野県更生保護女性会研修会 3 回 10 人参加
- (オ) 丸子地域消費生活展 5 人参加
- (カ) 会員視察研修 21 人参加
- (キ) 食事提供ボランティア 2 回 6 人参加
- (ク) 更生保護活動に関する学習会 28 人参加

(3) 真田地区センター

ア 真田地域シニアクラブ

- (ア) 高齢者クラブ数 6 単位 クラブ会員 225 人

(イ) 会議、行事等

- a 第67回全体会 正副会長・役員 8人
- b 県シニアクラブ東信地区ブロック研修会 正副会長 4人
- c 真田地域シニアクラブ杯マレットゴルフ大会 6月 23人
- d 真田地域シニアクラブ杯マレットゴルフ大会 7月 27人
- e 県シニアクラブ女性指導者研修会 女性会員3人
- f 金婚祝いお届け 3単位クラブ4組
- g 体育祭・健康を考えるつどい 110人
- h 上田市福寿会クラブゲートボール大会 5人
- i 県シニアクラブ連合会大会 松本市 役員 5人
- j 年度末役員会 7人
- k 伝承広場4地区で開催：菅平地区・長地区・傍陽地区・本原地区

(4) 武石地区センター

ア 武石シニアクラブ

- (ア) 地区高齢者クラブ 7単位クラブ 会員 326人

(イ) 会議・行事

- a 評議員会（総会） 2回
- b 上田市高齢者クラブ連合会理事会、正副会長
- c ともしび洗濯物たたみ奉仕活動 16回 延べ32人参加
- d マレットゴルフ大会 2回 延べ40人参加
- e 県シニアクラブ連合会東信ブロック研修会 3人参加
- f 県シニアクラブ連合会女性指導者研修会 5人参加
- g ニューススポーツ大会 1回 24人参加
- h 県シニア連マレットゴルフ大会 2人参加
- i 上田市高齢者クラブ連合会マレットゴルフ大会 10人参加
- j 第65回長野県シニアクラブ大会 2人参加
- k 終活講座 2回 延べ46人参加
- l 役員懇親会 10人参加
- m 女性部講習会 25人参加
- n 上田市高齢者クラブ連合会正副会長会 会長

イ 武石もみじ会

- (ア) 親睦会「楽しい会～！！」との合同企画 7人参加
- (イ) 研修旅行（武石身体障害者福祉協会と合同） 白樺湖 10人参加
- (ウ) 総会

ウ 武石身体障害者福祉協会

- (ア) 研修旅行（武石もみじ会と合同） 白樺湖 4人参加
- (イ) 総会

エ 武石遺族会

- (ア) 役員会
- (イ) 武石地区靖国霊社祭 11人参加

実行委員会事務局

(1) 上田地区センター

ア うえだ市民ふれあい広場

住民が互いに助け合う共生の意識を高め、福祉施設やボランティア団体、NPO 法人に対する理解を深めるとともに、ふれあいを図ることを目指して開催した。

(ア) うえだ市民ふれあい広場実行委員会 4 回

(イ) 10 月 19 (日) 上田創造館 実行委員 24 団体 157 人 来場者 約 850 人

(2) 丸子地区センター

ア いきいきフェスティバル

高齢者の長寿を祝うとともに、だれもが、身近な地域において支え合い、自分らしくとも生きる社会の実現に向け皆で考え、理解を深めることを目的としている。

(ア) 会議、行事等

a 実行委員会 3回

b いきいきフェスティバル2025 450人参加

c 慶祝記念写真（米寿18人、白寿5人、100歳以上1人、金婚式5組(10人)）34人参加

(3) 真田地区センター

ア ふれあい広場inさなだ

真田地域を中心に活動しているボランティアや関係団体、福祉施設等が一堂に会し、思いやりのある地域づくりを目指して、住民が交流を深められる場として開催した。

(ア) ふれあい広場inさなだ実行委員会 4回

(イ) 10 月 26 日(日)上田市真田総合福祉センター 実行委員 22 団体 126 人 来場者 約 400 人